大正九年十二月十四日第三種郵便物認可
康德六年(昭和十四年)四月十一日　新京日日新聞　(火曜日)　第五千八百三十四號　(一)

新京日日新聞
夕刊　四月十日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用(3)三二〇〇 營業局專用(3)三二〇五
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

伊太利軍機械化部隊 希臘國境に進出
ア國內殆ど常態に復す

【チラナ九日發國通】チラナのアルバニア派遣軍司令部はその後の戰況について九日左の如く公表した
ヴアロナ上陸部隊は北方へ行動を繼續し、ヴアロナ北方のフイエリ市を占據した一方イタリー軍機械化部隊はギリシヤとの國境近くの小邑アルギロカストロを占據した

なほイタリー宣傳省員は九日午前十一時飛行機でローマからチラナに到着、直ちに新聞檢閱、放送ならびに映畫による國內宣傳を開始した

【チラナ九日發國通】イタリー空軍は九日終日アルバニア全土の上空を最も活潑に飛翔し偵察と土民宣撫に活躍を續けてゐたが、國內は九日すでに平靜に歸し殆ど常態と異ならずイタリー軍隊は到る所でアルバニア國民の熱誠な歡迎を受けつゝ各方面に進擊を續けてゐる、首都チラナにおいても秩序全く回復し、ヤピ市長の命令は完全に行はれて市內各商店は一齊に開店、電信、電話、水道、電氣等の各公共事業も着々運行されはじめた

チアノ伊外相 チラナ發歸還

【チラナ九日發國通】チアノ伊外相は八日イタリー軍の入城後間もないアルバニアの首都チラナに乘込み土民宣撫ならびに新政權組織に活躍してゐたが、九日ローマに向け歸還の途についた

對策に腐心の英國
地中海艦隊進出待機

【ロンドン九日發國通】英國政府はイタリーのアルバニア進出に對し深甚な關心を寄せイタリー今後の地中海制覇工作阻止のため種々對策に腐心してゐる模樣だが、消息通の觀測によれば、英國政府は先づ最初の對抗措置として地中海艦隊のギリシヤ領水集結を考慮してゐるといはれ、一部では英國の對ギリシヤ保障決定と同時に直ちに艦隊の一部を派遣してコルフ島占據を行ふだらうとさへみてゐる、事實英國地中海艦隊の大部分は旣に東地中海の全域を游弋し得るイタリー東方の戰略地點に集結を完了したといはれる目下盛んにパレスチナから燃料の補給を受けつゝ待機の姿勢にあるといはれる

英の最後的態度
十日の緊急閣議で決定

【ロンドン九日發國通】バルカンの情勢重大化の報に接したチエムバレン英首相は復活祭休暇を取消して九日早朝ロンドンに歸還、官邸に入るとゝもにサイモン藏相、ハリフアツクス外相等と會見して報告を聽取すると共に對伊善後處置につき協議した、午後は更に主要閣僚と協議を重ねたのち方針を決定し、十日朝の緊急閣議で最後的決定を下す段取りである、またギリシヤ公使シモプーロス氏は午前外務省を訪問ハリフアツクス外相と會見したが、英國政府が緊急の措置としてギリシヤの獨立を保障するであらうとの觀測が強く、以上の場合にはコルフ島を占領してその決意を表明するのではないかと傳へられる

拓務省に調査部を新設

【東京國通】拓務省では現在再檢討を要求されてゐる滿洲開拓民問題をはじめ海外拓植事業の積極的調査研究に乘出すため現在の調査課を廢して新たに調査部を設置することに決し、近く右官制案を法制局に回附することになつた、諸般の手續き終了を俟つて五月早々開設する豫定である、新調査部は勅任部長の下に專任書記官二名を配することになつてゐるが、小磯新拓相の就任を機會に今後引續き拓務省機構の整備を中心に關係會社監督機關の強化を圖る方針である

英、對伊通牒手交

【ローマ九日發國通】駐伊英大使パース卿は九日午前キヂ宮にチアノ外相を訪問、イタリーのアルバニア進出に關する英國政府の對伊通牒を手交した

英國軍艦 サンレモを出港

【サンレモ九日發國通】北イタリーサンレモ海岸沖合に碇泊中の英艦三萬一千噸級主力艦ウガスライト號、アバディーノ號の二艦は八日深更突如サンレモをいづれかに立ち去つた、右英國軍艦は來る十一日まで同港に碇泊の豫定だつたもので投錨當時サンレモ海岸にゐた英國士官は悉く出港合圖の汽笛で急遽歸艦を命ぜられたといはれる

ボ上院議員中立法修正案に反對

【ワシントン八日發國通】中立問題及び歐洲政局の逼迫をめぐり米國朝野の關心が外交問題に集中されてゐる折柄共和黨の大立物ボラー上院議員は八日午前聲明書を發して米國の外交政策に侵略國指名ならびに膺懲の原則を導入するのはあくまで反對である旨を述べ、ピットマン上院外交委員長提出の中立法修正案に反對の態度を表明した、聲明要旨左の通り

余は米國の外交政策侵略國の指名並に膺懲といふ新原則を導入することは絕對反對だ、かゝる方法は最も巧妙且つ確實に米國を歐洲の紛爭に捲き込むものである

伊太利の行動は 平和への脅威
＝米國務長官聲明發表＝

【ワシントン八日發國通】イタリーのアルバニア攻略に關し米國政府は事態の推移を重大關心をもつて注視し來つたが、八日に至りハル國務長官はジョージア州ウオームスプリングに靜養中の大統領の承認を得てイタリー今回の行動は世界平和への脅威である旨強調し次の如き聲明を發表した

力によるアルバニアの占領は疑ひもなく世界平和に對する新たなる脅威である、かゝる事態の發展に對してもなほ目を蔽ふことは近視眼的態度といふべきであらう、平和の脅威はあらゆる國民に甚大なる影響を與へるものであり、また世界におけるすべての民衆の意思を蹂躪するものである、今次事件はその他同樣の事件とゝもに必然的に世界各國の信賴の念を破壞し、經濟的安定を覆へすであらうことは敢へてことわるまでもあるまい

さらにハル國務長官は新聞記者團との會見で聲明の內容を敷衍して次の如く語つた

イタリー今次の行動はイタリー、アルバニア兩國がともに調印してゐるケロッグ不戰條約の違反である、公式に取上げられたわけではないが、中立法による對伊武器禁輸の實行も考慮されてゐる

佛政界俄然色めく

【パリ九日發國通】イタリーのアルバニア進出に伴ふ地中海の情勢險惡化に對してフランス政界は九日朝來俄然色めき立ちボンネ外相は早朝ルブラン大統領を訪問、情勢の報告を行つた後、英國大使館のマツク一等書記官と會見、午後にはダラディエ首相とも重要會談をとげた、一方ダラディエ首相は午後三時陸軍省に緊急會議を召集、カンパンキ海相、ラ・シヤンブル空相等と重要協議を行つたが、右國防會議には特に國軍總司令官ガムラン將軍も出席した、またボンネ外相は夕刻駐佛フイツプス英大使の來訪を受け、歐洲情勢に關し重大會見を遂げる等閣僚の往來は特に慌しさを加へてゐる

玉山飛行場急襲

【○○基地九日發國通】陸の荒鷲吉田部隊は江西省玉山飛行場に敵飛行機が待機してゐるとの確報を得、九日朝十時○機を以て同飛行場を急襲、格納庫に巨彈を集中入庫中の飛行機諸共空中に吹飛ばし無事歸還した

南昌南方に進擊
敗殘の敵戰意全く喪失

【南昌九日發國通】南昌南方地區に進出中の津田、中山各部隊は八日午前十一時頃淅カン線西段の要衝湖家(南昌南方八里)を完全に占領、更に敗敵を萬家山々麓(湖家東方二粁)に追ひつめ西凉山(南昌東南七里半)より進擊した他の一隊と協力、深更にはこれを完全に包圍し九日拂曉各部隊一齊に突擊を敢行これに大打擊を與へて潰走せしめた敵遺棄死體約七百、なほ遺棄死體によりこの敵は顧祝同麾下の第十六師と判明した、又これと相呼應してカン江上流進擊の布施部隊は九日朝來同江岸の要地市汰街(南昌西南約九里)を猛攻中である

【南昌九日發國通】當地に達した情報によれば、我猛進擊に僅か八日にして南昌の護りを潰え吉安に逃走した羅卓英はじめその麾下軍團は周章驚愕

漢水渡河の敵を對岸に擊退

【漢口九日發國通】八日早曉折柄の朝靄に乘じて漢水河岸沈家場に約百、胡家場(多寶灣西方四キロ)に約二百の敵が漢水を渡河突擊し來つたのでわが軍は機先を制してこれに猛擊を加へて對岸に擊退し敵の渡河企圖を擊碎した、敵の遺棄死體卅六

武寧西方戰 建富の敵を擊破

【漢口九日發國通】八日武寧西方十六キロ標巷街を占領した佐野部隊は、同日夕更にその西方建富一帶の山岳に據る數百の敵を急襲してこれを西方に潰走せしめ引續き戰果を擴張中である、遺棄死體によりこの敵は十五師に屬すること判明した

和順の共匪擊破

【太原九日發國通】伊達部隊は八日拂曉を期し和順南方八キロの地點に潛伏の共產第百廿九師第三百八十五旅に屬する一ヶ連の敵を奇襲、これに多大の打擊を與へて潰走せしめた

南昌早くも復興

【南昌九日發國通】市內掃蕩工作を完了した南昌は漸次復興の氣分漲り、支那人經營の浴場、理髮店が開かれたほか十日朝からは早くも沿江路に第一市場が開設、南昌近郊の農民の野菜、卵、肉類などを賣出すことになつた

南昌南進部隊 西山夕戰果

【漢口九日發國通】南昌占領後南進中のわが部隊は七日夕西山夕で十六、七十九兩師に屬する約二千の敗敵集團を擊滅して同地一帶の線を確保したが、その後判明した西山夕の戰果は左の通り

敵遺棄死體二百三、捕虜十七、鹵獲品＝小銃廿五、彈藥三千三百五十、手榴彈五十二

黃河北方の掃敵狀況

【北京九日發國通】京漢線黃河北方地區における敵は各所に小癪なる蠢動を企圖しつゝあるので我軍は機先を制して隨所に擊破、多大の戰果を收めたが、六、七兩日の戰績左の如し

一、生駒部隊は七日未明修武北方の薄壁鎭附近を出發、同地東方約八キロの下八里附近で約三百の敵を急襲擊破したる後、更に北方三キロ附近で約四、五百の敵を擊退、同十時半敵據點石門庄を占領した、敵の遺棄死體百五十八、捕虜二十五、小銃三十を鹵獲した、なほ同部隊は殘敵を東方に急迫中であるが、敵の損害は甚大なる見込み

二、杉本快速部隊は七日午前十時半京漢線封邱東南にある東波陂附近の敵約四百を攻擊大打擊を與へた、續いて西方司庄附近に殘敵四百を攻擊敗退せしめた敵遺棄死體二百五十七、鹵獲品多數、わが方戰死一

三、清水部隊は六日焦作鎭北方六キロ圪料邊にて約百の敵を擊破、更に同地方約四キロ附近で五百の敵を潰走せしめた、敵遺棄死體五十、捕虜十

四、品川部隊は六日午前十時武陟を出發、東南四キロ附近で約五百の敵を攻擊西方に潰走せしめたが、遺棄死體百、捕虜五

また同部隊の一部黑田部隊は武陟西方六キロ附近で約百の敵を西方に敗退せしめた

五、富澤部隊は六日夕刻淸化鎭南方山地に約八百の敵が來襲したのに對しこれを猛擊東北四キロの柏山附近に追ひ北方に潰走せしめたが敵遺棄死體三百、わが方戰死下士、兵各二、負傷八

再建空軍に大打擊
昆明空襲の効果重大

【上海九日發國通】海軍航空隊は敵空軍根據地たる雲南省昆明の攻擊を企圖しありしに拘らず天候不良のため阻まれ切齒扼腕數ヶ月に及んだが八日折柄の晴れ間を利し低雲を突破して山間都市昆明の上空に飛來、午後五時十五分より同廿五分まで十分間に亘つてその飛行場を完膚なきまでに爆擊と壯烈極まる空中戰を演じ稀有の效果を收め雲間月明を利して全機無事悠々基地に歸還した、攻擊部隊は三隊に分れ先づ入佐少佐率ゐる○○機は午後五時十五分昆明飛行場を西南より東北に向つて連續爆彈を投下地上に待機中の敵飛行機を炎上せしめ三機を爆破せしめた外兵舍に直擊彈を投下してこれに甚大な損害を與へたが、兵舍爆擊直前敵機十機は左前方より我に襲ひ來つたので好餌とばかりこれに挑戰敵機は遂に白煙を吹いて逃走した

龜大尉指揮の第二隊は午後五時廿五分頃東方より昆明飛行場上空に突入兵舍及び飛行場北部に待機中の敵機に爆彈の雨を降らせ、敵三機を炎上、十數機を爆破せるほか雲上においては敵單葉戰鬪機三機と戰つて一機を擊墜、雲下においては複葉機一機、單葉機三機と交戰、複葉、單葉各一機を擊墜した、更に金子大尉の指揮する第三隊は第一隊と殆んど同時に爆擊に移り飛行場東部及び北部に待機中の敵機廿七機に對し連續爆彈を投下、全彈命中して敵機九機を炎上、その他にも甚大なる損害を與へたが、爆擊の傍ら敵複葉戰鬪機二機その他四機合計六機と激烈なる戰鬪を交へ遂に敵單葉機三機を擊墜した

かくてわが荒鷲は昆明飛行場上空を縱橫無盡に飛び地上にあつた敵飛行機百數十機のうち十五機を炎上、廿機を爆破せるほか空中においては敵機約廿機と激烈なる空中戰を演じ內六機を擊墜、敵再建空軍に甚大な打擊を與へた、此間敵防禦砲火は極めて熾烈でわが攻擊部隊は大型機銃の猛射を受けたが幸ひにも何等の被害なく凱歌を擧げて引揚げた

大場鎭で邦人殺害

【上海十日發國通】九日午前十時頃建築材料商三多洋行主岩生清造氏(四二、福岡縣小倉市海岸通九)がトラックに乘り大場鎭北方約二キロのクリーク橋畔に差しかゝつた際突如三名の土匪に狙擊され頭部、胸部にピストル三發を受けその場に昏倒、現場を通り合せた建築業大同組の林、榎本兩氏がこれを發見して急遽北四川路福民病院にかつぎ込んだが同日午後零時廿五分絕命した、トラックの運轉手及び案內の支那人張玉林は逸早く現場より逃走したので大場鎭警備隊及び總領事館警察部では目下その行方を搜查中であるが、犯行は純然たるテロ行爲とみられてゐる

保安隊警鹽團歸順
黨軍に愛想づかし申出

【太原九日發國通】山西省內各地に分散し最後の足搔きを續けてゐる黨軍の無統制振りに愛想をつかし儚なき抗日の夢より駭然覺醒し新東亞建設の大業に欣然參加せんと第八區保安隊警鹽團第一連劉汪銘はその優秀なる部下四十六名を率ゐてわが關村警備隊に歸順を申出た

デマ放送の爲に駐屯地爭ひ

【運城九日發國通】支那軍のデマ宣傳は打續く敗戰を隱蔽せんとする弄策から最近愈々その數を增し來つたが、このデマ放送から同志討を演ずるといふ飛んだ逆效果を示すに至つた、即ち同蒲線霍縣西方に駐屯してゐた傍係軍八十四師々長高桂磁は西北行營に對し「日本軍は八十四師の猛擊により同蒲沿線の要地を後退し現在では僅かに鐵道線路のみを保有するに過ぎず」と報告し自軍の功と誇つてゐたところが、最近「四月攻擊」への編制及び駐地替へから同師の駐屯地は陝西軍趙彥彪の率ゐる四十二師が入ることを命令され、狮は八十四師からの報告を信じ部隊を率ゐて交替に來つたものゝ實狀は鐵道沿線兩側は勿論奧地の要衝も日本軍に占領されてゐるため、交替中途旣に日本軍に一擊され損害を蒙り、狮は頗る激怒し八十四師の駐屯地に辿りつくや高桂磁にデマ報告を難詰し兹に兩者の間に深刻なる紛爭を惹起し、同地區において未だに兩師交替せず睨み合つてゐるといふ實狀で、如實に彼等の虛構デマを暴露してゐる

第一回國防委員會議

【上海七日發國通】支那側情報によれば、最近某所に於て第一回國防委員會議が開催され同會議には委員のほか、李宗仁、馮玉祥及び第八路軍から代表者が出席し從來の守勢的態勢を一擲し、第二期抗戰を全面的に實行に移すべく兵力の配備その他についても種々重要決定をなしたといはれその決定に基き目下全戰區にわたり部隊の配置、整備を行ひ反抗態勢を整へたと傳へられる

遭難艦殉職者 合同海軍葬

【佐世保十日發國通】十日午前九時佐世保鎭守府發表＝去る二月二日豐後水道で遭難したイ號第六十三潛水艦殉職者海軍少佐中島信義以下の合同海軍葬儀は四月十三日午後一時半から佐世保凱旋記念館で佛式により執行される

人事往來

着京

▲山下精一氏(會社員)九日東京ヤマトホテル
▲飛田升氏(同)同
▲井內榮一氏(同)ニューアジアホテル
▲近藤飛氏(同)同
▲林達夫氏(大同製鋼會社)國都ホテル
▲木村盛熊氏(滿鐵社員)同
▲田坂義雄氏(日滿商事)同
▲近藤謙三郎氏(官吏)同
▲酒井淸彥氏(商業)同
▲野口政德氏(醫師)滿蒙ホテル
▲渡邊秀一氏(會社員)同
▲小早川貞三氏(同)同
▲坂本爲次郎氏(同)同
▲梅田重氏(商業)同
▲野本清鑒氏(滿鐵社員)同
▲塚本光一氏(商業)同
▲山形章氏(日本砂糖會社取締役)同
▲日川宮次氏(會社員)同
▲八幡英一郎氏(同)同
▲岡省三氏(會社員)大都ホテル
▲世戶一夫氏(同)同
▲古賀大輔氏(滿鐵社員)同
▲古川勝太郎氏(化學工業)同
▲濱村三郎氏(會社員)三國ホテル
▲山崎喜代夫氏(同)同
▲渡邊德雄氏(農業)同
▲松下正義氏(會社員)同
▲松永政一氏(官吏)蓬萊ホテル
▲平井勇氏(同)同
▲國澤透氏(電氣業)帝都ホテル
▲榎並直氏(請負業)同
▲木下秀敎氏(滿洲林業)同
▲小林義雄氏(東亞研究所)同
▲松尾修三氏(滿洲林業)同

出發

▲江口春雄氏 九日哈市へ
▲平野三雄氏 大連へ
▲櫻澤千藏氏 東京へ
▲關谷金一氏 奉天へ
▲宇佐美熊嘉氏 同
▲本田優氏 哈市へ
▲小日山直登氏 大連へ
▲水間忠氏 奉天へ
▲阿戶淸三郎氏 哈市へ
▲長谷川重夫氏 奉天へ
▲太田稔氏 大連へ
▲甲斐喜八郎氏 營口へ
▲丸茂豐氏 奉天へ
▲岩崎登氏 同
▲森謙治氏 同
▲鈴鹿良藏氏 同
▲由井辰男氏 大連へ
▲桑田忠太氏 同
▲新居四郎氏 同
▲村田進氏 奉天へ
▲野口賢氏 同
▲織田裕義氏 哈市へ
▲後藤吉助氏 勃利へ
▲相良三介氏 遼陽へ

その日く

□ 言論戰はなやかに支那にあり、汪精衞熱烈にその主張を說き續ける
□ こんにちの迷途的羔羊の群れ、耳を洗ひ眼を拭つて聽く要があらう
□ すでにして反英の叫びは支那の各地に昂まりつゝあるのである
□ 徒いなる四月十日の攻擊とやら、軋轢を隱すための苦勞振りが見え透く
□ 鳥に巢あるに旅の子に寢る宿がなくては、興亞の春も嘆かれよう

輝く表彰を受けるペスト戰功勞者
民間側は西原商店々主一名
近く表彰感謝式擧行

國都四十萬市民を戰慄線のクライマックスに押し上げた去る二月十九日、市內興安大路六二四に發生したペスト事件は國都防疫陣總動員による必死の活躍の結果二名の犠牲者のみで喰ひ止め得たが、同區に遮斷線が布かれて以來遮斷解除まで晝夜をわかたず蔓延防止に努めた左記警察官十九名並に警察囑託醫、民間側一名は首都警察總監より表彰されることになつた、一兩日中に警察側三十名には金一封と表彰狀、民間側に同じく金一封と感謝狀を贈る表彰感謝式が擧行されるが、民間側唯一人の感謝狀受領者西原商店々主井上誠氏はペスト發生と共に同店を防疫事務所として衛生當局に無料提供し自己の業務を棄て防疫に努めペスト滿を脫し得た功績を賞せられることになつたものである【寫眞は井上誠氏】

◇順天署＝順天警察署長松原淸次郞氏、警佐久川綱義氏、警尉鷲谷爲治氏、同淺井正永氏、同澤辮太郞氏、同紅野德氏、警尉補西田逸雄氏、同吉田岩太郞氏、同村木榮吉氏、同上村盛滿氏、警長益田熊彥氏
◇中央通署＝警尉補榊木榮氏
◇四道街署＝警尉補仙田鍵次氏、同菊地哲三氏
◇長通路署＝警尉補野口鳳錫氏
◇首警衛生科＝警尉補崔興龍氏、警長迁榮一氏
◇順天署＝警長馬渡將夫氏、同磯尾勇一氏
◇民間側＝警察囑託醫中野長龜氏、西原商店主井上誠氏

みんな仲よく今日から一年生
奉告祭も神社で擧行

さあけふから一年生、坊ちやん孃ちやん達の指折り待たれたあこがれの入學式は十日午前十時都下各小學校で一齊に擧行された、ランドセルを背に保護者に手を引かれ初登校の一年生は勇んで顏は歡喜の表情にくづれてゐる、喜びの式は定刻に始まつた、行儀よく整列した上級生の拍手に迎へられて一年生及び父兄の入場あり、君が代合唱、校長先生のお話「どうぞよろしく」と新入兒童の引合せの後在校生總代、新入生父兄の總代の挨拶、校歌の合唱を以て閉式した、次いで今日の喜びを奉告する入學奉告祭は正午から新京神社に於て關屋學校組合長參列の下に三笠校新入生が各校を代表參拜して嚴肅に擧行した【寫眞は新入生の登校と神社の奉告祭】

興和ビル問題 家主讓步

「家主が代つたんだから立ちのいてくれ」「行先がないのに立ち退けるか」と新家主對店子が睨み合つて紛糾してゐた市內新發路興和ビルの立退問題は三月上旬新家主である大新ホテルで空室を取り毀しに掛つたところから惡化、廿四戶のうち殘留した十四戶は再三に亘つて家主と懇談、新發路中村區長が乘り出して斡旋につとめたが、家主側は四月一杯に立退を要求、店子側は五月末まで待てと話が纏まらず依然紛爭を續けてゐるので、所轄四道街署では捨て置けず四月初めから家主、店子を呼び出して双方の理由を聽取した結果、立退日は双方の間をとつて五月二十日まで、三、四、五月分の家賃は無料六月分の家賃は移轉料として家主側で出すことに決定、十日家主側の敗北で解決した

體育教師協議會

昨年公布せられた學校體育教授要目の徹底普及に依り更に一層國民體育の向上及び國民的訓練の振興を期し新京特別市體育衛生主任教師の打合せ會は十日午後一時より市公署大會議室で開催され、市側から北村體聯事務局主事、滿系中小學校の體操擔當教師約四十名出席のもとに開催、民生部主催の行事、學校體育中央講習會、市主催學校體育衛生講習會を始め體育研究會、唱歌行進遊戲、體育舞踊講習會其他各事項に關し意見を交換體操服制定、體力檢査、教師懇親運動會、體育研究會、聯絡事項等國都體育運動の全般的協議をとげた

臨時首都聯合協議會
來る十九日開催
住宅難問題も討議か

協和會首都本部の康德五年度臨時聯合協議會續開は十九日午前十時半より首都本部大會議室で各分會全代表出席のもとに開催され、昨年十二月二十三、四の兩日に亘つて開催された聯合協議會で審議未了となつてゐた南新京發展策、寬城子移轉問題等六件が上程審議されるが、目下深刻に國都市民の間に叫ばれてゐる住宅難問題等も十五日迄には完了する各連絡幹事會調査の結果に基き愼重嚴密なる討議が行はれることとならう、なほ上程議案並に順序は左の如くである

第一部
一、開會の宣言
二、國旗に對し敬禮
三、本部長挨拶
四、議長、副議長挨拶
五、臨時首都聯合協議會經過報告

第二部
一、代表氏名點呼
二、議案審議

第三部
一、本年度首都における協和會活動要綱の說明

第四部
一、官民懇談會、市行政の說明、警察行政の說明
二、本部長挨拶
三、閉會宣言

上程議案
一、農村荷馬車組合捐徵收に關する件
二、南新京發展策を講ぜられたき件
三、工業地帶の一部を住宅地として解放せられたき件
四、貧民滯納地租免除の件
五、寬城區韓家屯、散步關孟家橋三區域移轉に關し善處せられたき件
六、蔬菜栽培地區設定に關する件

鐵の釜を飮む機械技手

新京住吉町二ノ八居住機械技手塚田三雄（三一）は本年三月二日老松町製紙業堤オワリさんより製紙用鐵釜一個を五百三十圓で製作を引受け手附金として三百圓、三月十三日百圓計四百圓を受取りながら今日に至るも受注品の製作をなさず、數回催促するも言を左右にして製作の意志更にないところより堤さんより塚田を詐欺として所轄中央通署に屆出あり、九日夜財前刑事が身柄を本署に引致目下取調中であるが餘罪ある見込み、塚田は堤さんより詐取した四百圓をもつて城內料亭新富樓に登樓、藝妓を總揚して底拔け騷ぎを演じ或は各カフェーにて豪遊するなどして蕩盡し取押へたとき懷中には一圓餘を所持せるのみであつた

東洋選手權の王者
ピストン堀口來る！

東洋のマヂソンスケアーガーデン兩國國技館に於て強豪クリスピネダをTKOに葬り東洋選手權を確保して數萬のファンを狂喜させた拳鬪王ピストン堀口はその實力をファンに紹介するため地方を巡遊中であるが、近く元全日本フェザー級選手權者六場淸、フェザー級全關西選手權保持者宮橋丈夫、フェザー級の第一人者青木敏郞、楠本芳保君等關東、關西の新銳古豪三十餘名の一行で來京、豪壯なる肉彈戰を紹介することになり新京としては未曾有の豪華試合に早くもファンを熱狂せしめてゐる

深夜を騷がす街の紳士橫行
昨夜また三笠町で

深夜の巷を騷がす與太者の掃滅を期して當局は嚴重取締りつゝある折柄、又しても通行中の日本人を毆打した半島人與太者が出現した、十日午前三時頃市內東一條通六〇飮食店米久の傭人渡邊晃氏（三一）と同國淸守氏（三二）の兩名が一杯機嫌で三笠町三丁目の路上を通行中、折柄通りかゝつた三名連れ半島人と行違ひ一寸したことから口論となつたが、半島人は矢庭に國淸氏を毆打暴行して來たので吃驚した渡邊氏は急を日本橋派出所に訴へ、それッと派出所員は現場に急行したが既に暴行組の一團は姿を晦した後だつた調査の結果亂暴者は東二條通某洋服商外交員崔某（二〇）とその同僚で與太者としてかねて當局の注目しつゝあつたものと判明、目下所在搜査中である、尚國淸氏は手指及び顏面に裂傷を受けた

今日は風 雨は降らない

昨日日曜は陽光に惠まれた絕好の行樂日和であつたが、明けて十日は天候がからりと變つて滿洲特有の黃塵舞ひ上る季節風に巷は穢れ春を憂鬱にした、雨の前兆ではなからうか、觀象台は語る
今日の風は春先に吹く例の蒙古風に似てゐます、東蒙古に低氣壓があつて南風となつた關係です、雨は大丈夫でせう

市民の淸掃週間
市主催で廿日より實施

暖かい南風と共に內地の花信頻り、國都も愈よ本當の春氣分を出してゐるが、これと共に全市民を擧げてさつぱりとした春化粧をすることとなり三十日より一週間市主催で淸掃週間を實施することゝなつたが、十日午後四時より春日市保健科長その他各區長關係者が出席して行事の打合せを行つた

工業用水が問題
重住市工務處長歸任

躍進國都の上下水道完備のため內地各先進都市の施設を視察に三月十三日內地に赴いた市公署重住工務處長は十日朝八時十分の列車で歸任したが約一ヶ月の視察の結果につき左の如く語つた
東京、大阪始め內地の上下水道施設特に工業用水を詳細に見て來ました、內地各都市はその發展につれて市民の消費する飮料水から工業用水を分けることに非常に惱んでゐます、東京では飮料水から一割の工業用水をとつてゐますが、大部分は河水を使用し、組合をつくつて市から補助を受けてゐる現況で、高級工業用水たる脫鐵、軟水設備は非常に完備してゐます、その他鐵、ガソリンの不足してゐることはこちらと同樣で夫々統制を受け乍らやつてゐるやうです、國都の工業用水施設については今後調査の結果に基き計畫を樹てるつもりです

張連科匪を殲滅

滿洲事變の當初よりソ聯の使嗾に躍り、北滿一帶に跳梁暴虐を恣にしてゐた共匪張連科も連續不斷の討伐により、遂にその醜い屍を晒すに至つた
即ち〇〇部隊の山本討伐隊は去る七日濱綏線神樹附近一帶にわたり積雪二尺を冒し張連科匪を求めて行動中、神樹西側谷地において同匪四十を發見、これを奇襲全滅した
敵遺棄死體（匪首張連科の死體を含む）二〇、鹵獲品—輕機一、小銃一〇、拳銃七、其他彈藥多數及び張の所持金五百廿圓、重要書類

種馬場長會議

馬政局では遠大なる計畫のもと滿洲產馬の根本的改良に乘り出すことゝなり着々準備を進めてゐるが、本年度事業計畫遂行の萬全を期すため十二日、十三日兩日午前十時より新京日滿軍人會館に於て全滿種馬場長會議を開催、各地種馬場長並に技佐、關係機關代表ら四十餘名集合、具體案につき討議する筈である、なほ同會議に先だち十一日午前十時寬城子國立種馬場に各地場長並に關係者參集、遊佐局長より一場の訓示のゝち實地に就き種々研究する豫定である

大陸の勤勞
文部省、學生派遣

【東京國通】文部省では今夏大學高專の學生々徒約五百名を選拔して七月中旬北支に派遣、大陸の現狀を具に視察せしめると共に適當なる集團勤勞を課し身をもつて興亞の建設に參畫せしめることになつた、スケヂユールは目下教學局に於て研究中であるが、先づ出發前茨城縣內原農民道場又は拓植訓練所に合宿せしめ必要なる團體訓練を行ふ事になつてゐる
派遣團は法學、文學、經濟、理學、工學、醫學等約十班に區分し夫々の專門教授がこれを指導、現地到着後醫學班は病院勤務、法學班、文學班は新民會と協力適當なる宣撫文化工作、工學班は鑛山、工場勤務と職能別に分れて約一週間の集團勤勞を行ひ、これが終つてから約二、三週間大陸各地の見學旅行を行つて八月末歸國の豫定だが、この成果は各方面から期待されてゐる

そよかぜ號
臺北發廣東へ

【臺北國通】臺北に一夜翼を休めた日本、イラン親善機そよかぜ號は十日午前八時十二分官民多數の見送裡に廣東に向け勇躍出發、第二日目の壯途についた、この朝四月の陽光は燦として照り壯途を祝するに相應しい飛行日和であつた

廣東着

【東京國通】十日午後零時十三分航空局に達した公電によれば、そよかぜ號は午前十一時卅五分無事廣東に着陸した

街の日記

樂院トロムボン 大津氏着任

躍進更生の新京音樂院の大物として招かれた東京新交響樂團トロムボンの名手大津三郞氏は十日午前八時十分の列車で着任、大塚氏と市公署で挨拶をとげたが語る
旅順の戰蹟をみて大いに感激し、今後は滿洲文化運動のため死もの狂ひで仕事をし度いと思つてゐます、滿洲に來てちつとも外國だといふ氣は起らなかつた、今後の仕事をみてゐて下さい

春季定期種痘

首都警察廳管下康德六年度春季定期種痘は五月三日から十日間に亘つて實施する事になつた

地方官吏訪日團

內務局主催の滿洲國地方官吏訪日視察團一行二十五名は十二日午前八時十分發列車で出發北鮮經由で渡日する、視察期間は三十五日間の豫定

商工公會訪日團

新京商工公會主催、訪日經濟視察團滿系廿三名は三十日間の豫定で十二日午後十時五分發列車で出發する

寄贈

前宮內府次長入江氏夫人登喜子夫人は引越多忙の中を國婦首都本部を訪ひ、數ヶ年愛護したる「フランス人形」と花鉢とを大量持參、人形は陸軍病院へ、花鉢は日曜の兵隊さん達へ夫々觀賞用として寄贈、又金一封の寄贈あり、之は北滿の地に活躍する少年義勇隊に慰問品の一つも寄贈し度いとの意思を受け首都本部は早速慰問品發送の仕度に取掛ることになつた

あす（十一日）

▲皇軍遺骨午後三時着京 記念公會堂に於て御通夜
▲鄉軍第一分會役員會 午後六時より於記念公會堂
▲中央市場打合會 午後一時より於記念公會堂
▲特產中央會會議 午前十時よりヤマトホテル
▲馬政局種馬場長實地研究會 於寬城子種馬場

田中中銀總裁

六年度滿洲產業開發資金調達その他に關し日本側と折衝のため東上中の田中中銀總裁は笠井秘書課長、小泉秘書を帶同、九日午後九時五十分新京着（廿分延着）ひかりで歸任した

◉ジョンストン夫妻今夜來京 米國ワシントン大學教授ジョンストン夫妻は十日午後九時半新京着列車で哈爾濱より來京する

今晩の主なる放送

▲七・三〇（大阪）國民歌謠 JOBK唱歌隊女聲部▲七・四〇（東京）「講演」原邦道▲八・〇〇（奉天）朗讀福井てる子▲八・二〇（大連）詩の朗讀 大連藝術座▲八・三五（東京）物語德大寺伸外▲九・〇五（東京）ラヂオ小說御橋公外

市川猿之助一座 國都公演決る!

十三日から二日間西廣場倶樂部で

歌舞伎界の革命兒として曾て春秋座を組織し傳統としきたりの世界に反撃の榴彈を放つた市川猿之助と其一黨の國都公演は既報の如く愈よ來る十三日より二日間西廣場滿鐵倶樂部において絢爛たる幕を開けることになつたが、一座の顔觸れは

猿之助を中心に市川八百藏、市川段四郎、澤村源之助、澤村源十郎、市川三之助、市川呵猿、坂東慶三、澤村長二郎、市川喜三之助、市川女猿、市川末五郎、坂東勝太郎、他百餘名の豪華陣、これに長唄界の第一人者杵屋佐吉社中を配して文字通り空前の大舞台

早くも國都演劇愛好者の間に熱望の話題を昂め、金泰洋行、寶山百貨店、滿鐵社員倶樂部三ヶ所の前賣券發賣所には連日これら演劇ファンの殺到を見、開演當日の壓倒的盛況を豫想せしめるに充分なものがある、二日間の狂言も左の如く時局にちなんだ名作陣を並べ、恒例年一度の大歌舞伎によせる渇望の愈よ熾烈化してゆくことを思はせる【寫眞は「連獅子」の猿之助(上)と杵屋佐吉(下右)市川八百藏(同左)】

第一「繪本太功記」一幕 竹本連中

第二所作事「連獅子」一幕 長唄 囃子連中 杵屋佐吉出演

第三新作「天一坊と伊賀亮」二幕

第四所作事「操り三番叟」一幕 長唄 囃子連中 杵屋佐吉出演

第五所作事「奴道成寺」一幕 長唄、囃子連中

日滿映畫提携

滿映、東寶間に具體案成る

滿映、東寶兩社では日滿映畫提携に關して從來種々折衝中であつたが、八日午後一時東寶の江口計畫部長は滿映本社を訪れ根岸滿映理事との間に映畫提携の具體的な打合せを遂げた、打合せ内容は

一、滿映、東寶のスタヂオを無償で利用し合ふこと

二、滿人の必要な「日本映畫」日本人の俳優の必要な「大陸映畫」を製作する場合には兩社の俳優を融通し合ふこと

の二項目であり、この日滿映畫提携の手始めとして滿映では久米正雄氏原作の滿洲開拓地を背景とする劇映畫の製作に當つて東寶より原節子、竹久千惠子、大日方傳、佐伯秀男、月田一郎の五スターを借り受け出演させることになつた

仙人掌

カフエ大新京の鹿島クン江戸前の齒切れの良さで仲々の好評であるが生ハンカに彼女をからかつたらきつといはれる「みつともない、舌をかみなさんな!」とね▼やはりこゝの大草タン、いつも彼氏があるとかないとか旺んに騒がれてゐるが、この頃は殺到する男の愛撫をいささかもてあまし氣味▼僕を愛してネ、さう、ぢや僕と結婚してくれない?、そうネ……、はつきり返事を聞かしてくれ給へ、考へてみるワ▼これは或夜、或るボックスで仙人掌子が偶然にキャッチした一例である、これとは反對につゝましやかな?のは赤玉の華代クンである▼愛してネ、え、結婚してくれる?、まあもつたいない、私の樣なものには結婚の資格がないワ、いゝんだよネ、私の樣なつゝかものには本當に資格がないのヨ▼二つの異つた行き方ではあるが結果に於て斷つたことには變りないのである

雜音

長春座上映中の「愛情部隊」は例によつて女中心戀愛主軸の大船物、豬俣勝人のシナリオ、佐々木康演出はこれを商業用作品としてその點では程度の明るさと速度を持ち女優陣の寂しさを割引してみても先づ旨く出來てゐると言へるであらう▼ストオリイは三組の戀愛を綾に織つた構成を持ち、こゝから三様の女性の心理を究めやうとしたものであるらしいのだが、この邊はシナリオ、演出ともに落第、三浦光子、槇芙佐子、森川まさみといふ出演者の未完成にもよるが第一にこれらの扮する〃役〃に〃生活〃の裏打ちがないので始めから〃嘘〃が見すかされる▼スキー場で雪崩のために片足を失つた青年の伴侶となる女主人公にしてからがチャチな戀愛感傷の中にあるとしか思はれないし、傍系となる女主人公の友人と片足を失ふ青年の兄との交渉もボヤけたものだし、繪書きとモデル女の關係に到つては些か持て餘しの氣味で、繪書きの存在が途中で忘れられてゐたり、モデル女が罰々として到る處に出沒するのも奇怪千萬な話である▼〃愛情部隊〃といふ部隊の人員だけはどうやら不足はしてゐないが、さて戰爭となると空鐵砲ばかり派手に鳴らしてゐるやうな作品、兄弟の父の戰死などの時局への結びつけ方はその意圖に不純なものがあつて其儘には頂けないもの▼三浦光子の代役は懸命、三井秀男は柄がちと惡いが一番の出來、夏川の繪書きは損な役所だが先づ適役といふところ、上原は騒々しいのが氣になる▼大船作品は何時までもこんな低調な彷徨を續けてゐるやうでは先きが案じられる、力強い潑剌たる企畫へこの邊で直つて貰ひたいものである

火曜 戊寅 大安 開 室宿

東京・本郷・神誠館

●一白の人 心を輕く持ちて沈まぬ樣にすべし世話事凶 坤と東と壬が吉

●二黒の人 一念を集中して心を他に散らさずば吉日たり 庚と丙と丁が吉

●三碧の人 小挫折を氣に掛けず心を勵まして進むべし 丙と壬と丁が吉

●四綠の人 出費もあれども傍より入り來り餘りある日 乾と艮と甲が吉

●五黄の人 虚榮心を去りて實利一方に傾むき勵むべし 丙と壬と東が吉

●六白の人 一喜一憂出入も亦常ならざる日萬事に注意 西と巽と東が吉

●七赤の人 外に奮鬪するときは財自から内に集るべし 巽と坤と乾が吉

●八白の人 突進は戒しむべきも後退すべき時にあらず 東と西と坤が吉

●九紫の人 其の位に安んずれば福自から集り來るべし 艮と西と甲が吉

朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

賓陽、南寧(廣西省)を猛爆
浙贛線要衝にも攻撃續行
海鷲の活躍目覺し

【上海十日發國通】艦隊報道部十日午後四時發表＝

南支方面戰況＝1、八日海軍航空隊の一部隊は廣西省の要衝賓陽を空襲、兵營を爆破し軍用自動車數臺を銃爆撃これに大損害を與へたり2、八日昆明空襲において著大なる戰果を收める海軍航空部隊は更に九日南寧空襲を決行、同地方にありし鐵道材料及び軍需品置場を爆碎したるほか倉庫數棟を大破せり、市街陣地より大型機銃の攻撃を受けたるもわが方に被害なく全機無事歸還せり3、同日他の一部隊は陸軍の作戰に協力、嵩門、嶺口を攻撃して敵陣地及び市街地の軍事施設を破碎し二ヶ所より大火災を生ぜしめたり

中支方面戰況＝八日海軍航空隊の有力部隊に浙贛線要衝の攻撃に出撃、玉山及び衢縣兩飛行場ならびに廣信の軍事施設を爆破し何れも多大の戰果を收めたり

【上海十日發國通】入佐少佐指揮の海軍航空隊は九日前日の昆明空襲に引續き廣西省南寧爆撃に出動、正午すぎ同地上空に現れて市街北方廣西縱貫鐵道南寧停車場豫定地附近鐵道材料及び軍需品置場に○○彈を投下、一ヶ所より火災を生ぜしめ更にまた市街東方飛行場附近より市街東北方新鐵道豫定線路間にある倉庫に投爆これに大損害を與へた、市街陣地よりは大型機銃の防禦砲火を受けたが、わが方は損害なく全機無事歸還した

陸鷲 長驅、西安を空襲
山西各地にも巨彈の雨

【○○基地十日發國通】陸の荒鷲水崎部隊は十日朝山西省西部故城鎭を、また阿部、大泉兩部隊は同地西方十キロの權店をそれぞれ空爆、敵大部隊に大打撃を與へ、一方鈴木部隊は同日午前七時鵬翼を連ねて長驅西安を空襲したが、敵機を認めず恣に猛爆を敢行し全機悠々基地に歸還した

【○○基地十日發國通】山口部隊長の率ゐる陸の荒鷲○○機は九日午前十時共産第八路軍ならびに四十二師の蟠居せる泌源縣城上空に姿を現はし敵屯營ならびに附近陣地に巨彈を投じてこれを粉碎、一旦遙か南方の黃河々畔垣曲を襲ひ、折柄黃河を渡河して北上せんとする敵部隊を發見、忽ち潰しに巨彈の雨を降らしこれに大打撃を與へて全機無事基地に歸還した

【○○基地十日發國通】陸の荒鷲山口部隊は十日早朝○○機編隊をもつて前日に引續き黃河渡河點垣曲を猛襲渡河使用中の敵船數十隻を木ッ葉微塵に粉碎、更に同地北方二十キロ皐落鎭を襲ひ北進中の敵第五軍曾萬鍾の率ゐる部隊に巨彈を投じてこれに大損害を與へ全機基地に凱歌を擧げた

【○○基地十日發國通】蔣介石の所謂「四月攻勢」命令により北支各地で雜軍掃除を兼ねて小癪にも反撃態勢をとつてゐる敵軍に對し、わが陸の荒鷲各部隊は連日反覆銃爆撃を敢行してその出鼻を挫き多大の戰果を收めてゐるが、九日わが陸の荒鷲阿部、大泉、水崎各部隊は三回に亘り山西省武鄕、沁縣、南關鎭、楡社等の敵叢動據點を取卷く敵陣地を粉碎した

潼關東方での軍用列車を寸斷

【運城十日發國通】山西最南端黃河々岸風陵渡で隴海線を睥睨する藤室部隊は九日午前八時半潼關東方約一里の七里店附近を東行中の敵軍用列車を砲撃、わが的確なる砲彈の第一發は列車中央部の二輛を粉碎、第二發は機關車を吹飛し、第三發は後部列車に命中し遂に同列車を寸斷、乘込んでゐた敵兵は周章狼狽南方山地に潰走した、この大戰果に意氣いよいよ昂れる藤室部隊は更に對岸敵トーチカに連續廿餘發の猛射を浴せつぎつぎにこれを粉碎した、わが猛撃に同日午前中の隴海線は一列車の通行もなかつたのが敵は急速に修理を行つたものゝ如く午前三時頃から夜にかけて東行五列車西行七列車の運行がみられた

山東、江蘇沿岸
交通、交易取締を緩和

【青島十日發國通】從來海上作戰の必要上山東省沿岸就航船舶に對し航行その他に關し相當の制限が加へられてゐたが、今回軍當局の好意的取計ひにより取締規約中一部改正され航業聯合會加入船にして同會の許可證を有するものに限り山東省沿岸全部及び斜陽河以北の江蘇沿岸に對する海上の交通並に交易を許可することになつた、但し匪賊の横行する地區相互間の交通及び交易は從來通り禁ぜられることは勿論である

蔣政府の分裂は不可避
王委員長談發表

【北京十日發國通】臨時政府王克敏委員長は十日午前十時外交大樓において内外記者團と會見したが、和平問題について次の如き談話を發表した

汪精衛と私は小さい時から親友で現在では單に文書の往復をしてゐるに過ぎず、詳しい事は知らぬ、汪の和平聲明が蔣政府部内に重大なる反響を呼び起しつゝある事は疑ない事實で、蔣政府の分裂は不可避であると思ふ

河南北部黃河北岸地區戰果

【北京十日發國通】河南省北部の黃河北岸地區討伐中の○○部隊の五日より八日に至る戰果は左の如くである

戰鬪回數四十、交戰敵勢力約一萬、敵屍千二百二十六（内將校三十）、捕虜七十六、鹵獲品―重輕機七、小銃二十、卅榴彈百十二

敗敵の追擊愈よ急
江南山野 各所に壯烈な殲滅戰

【カン江十日發國通】南昌攻略後士氣愈々軒昂たるわが軍は依然敗敵追擊の手を緩めず江南山野の隨所に痛快なる殲滅戰を展開してゐる、即ち武寧攻略後引續き敗敵を追擊戰果擴張中の佐野部隊は九日玉庄附近の隘路を扼して小癪なる反擊に轉じ來つた約三百の敵を猛擊これを北方に潰走せしめ次いで十日早朝煙港街西方高地に據る敵約八百を攻擊西方に擊退した、同部隊が七日武寧西方より猛追擊を開始して以來十日までに交戰せる敵兵力は三、十五、七十七、十の各師に屬する約三千名で遺棄死體のみでも四百に達する大打擊を與へたに反しわが損害は僅かに輕傷三、戰死馬一頭である、なほ敵遺棄死體の中には新品の銃を所持するもの相當多數あつた事實から見て同方面の敵は長沙方面より新たに增派された新鋭軍の模樣である、又高安縣城占領後周邊地帶の敗敵を求め活躍中の飯野、園田各部隊は七日より八日まで高安西方二キロ胡賽山、石鼓山、七里山の線にかけて敗敵の大部隊が集結してゐるを知るや八日夜陰に乘じて遠く西北方面より逆に包圍し九日早朝一齊に攻擊を開始、午後二時敵に全滅的打擊を與へ七里山を始め一帶の連山を占領、山頂に感激の日章旗を掲げた、敵は遺棄死體を殘して西南方に潰走した

煙港街の戰果

【武寧十日發國通】武寧西方四里の煙港街に進出せる池田松崎各部隊の戰果は敵遺棄死體四百、鹵獲品＝迫擊砲五、機關銃五、その他多數である

聯銀天津分行經理
程氏狙擊さる
英工部局大狼狽

【天津十日發國通】九日午前八時半英租界グランド映畫劇場において上映中の暗がりの中から凡そ八發の拳銃を連射した支那人がある、觀覽中の聯銀天津分行經理兼天津海關監督程錫庚氏外支那人一名及びこれを捕へんとしたスイス人一名即死せしめ、ロシア人一名は重傷を負つた、ダイオット氏の拉致事件に引續くこの不祥事件にイギリス工部局は大いに狼狽、直ちにフランス工部局の協力を求めて犯人捜査中

【北京十日發國通】聯銀天津分行經理程錫庚氏は九日夜天津英租界において暴漢により狙擊され即死したが、この不慮の災禍に際し王克敏委員長は十日暗然と左の如く語つた

程錫庚氏は爲替方面の權威者で、有爲の士を失つたのは殘念至極である

歐洲情勢を反映
蔣政府和戰兩派對立

【香港十日發國通】消息通の傳へるところによれば重慶方面では表面共産黨及び主戰派の抗戰徹底論が壓倒的に支配してゐるにも拘らず、一方においては最近蔣政權首腦間に和平に對する深刻な考慮が拂はれてゐると言はれてゐる、右は

一、七省攻略を一轉機として北中南支全線に亘るわが軍の軍事制覇が愈々蔣政權の死命を制するに至つたこと

一、國内的には汪精衛等の和平派に對する苛酷な彈壓に拘らず、一般民衆の間に和平を希望する氣運は日一日と醞釀しつゝあること

一、重慶政府が最後の頼みとする英佛米ソ聯の對支援助も最近歐洲國際情勢の緊迫により極東に對して干渉する餘裕を失ひつゝあること等の實情に今更ら乍ら失望するに至つた結果とも見られてゐる、就中對外方面においては最も期待してゐるソ聯をして實力援助に引出すべく孫科が中心となつて最後の努力を試みつゝあるが、ソ聯は單獨に動く模樣は全然ない、精々クレヂット設定および軍事指導程度の協定を締結するに止るものと見られる、一方米國の新中立法案は制海權と大商船隊を有する日本にのみ有利で支那にとつて非常な不利を齎し、ひいて支那の抗戰を著しく困難ならしむる結果にあると、蔣政府側では近來頻りにこれを氣に病んでゐる傾向が窺はれる、あたかもかゝる際にカー駐支英大使がクレーギ駐日大使と上海で會見の後重慶に向ふことは歐洲政局の急激な緊迫が英國の極東政策に及ぼすべき反響と思ひ合せて極めて重視され、これを契機として國府今後の動向の上に近く何らかの轉回が見られると共に、部内における主戰派と和平派の對立は愈々激化されるのでないかとの觀測が有力化してゐる

天嶮九嶺山に巢喰ふ
十萬の敵を潰滅
覆面若松部隊、意氣揚々凱旋

【武寧十日發國通】去月廿一日箬溪西方で修水を渡河覆面のまゝ修水南岸に聳え立つ天嶮九嶺山脈に分け入つて十二日間實に八十里の山路を縱橫に驅け廻り山脈に巢喰ふ敵十萬を潰滅し意氣揚々と武寧に出て來た快速部隊がある、これは漢口戰で名高い若松部隊で去る四日續々山から這ひ出して七日

武寧に

現れたが、眞黑に山やけした將兵一同は戰利品を滿載した牛、水牛、驢馬等を從へて將に颯爽たる武者ぶりである、同部隊は去月廿日箬溪に行動を開始、廿一日箬溪西方二里津黑附近で敵前渡河を完了、廿四日箬溪南方六里楊州の敵を血祭りに擧げ敵遺棄死體一千とゝもに大隊長、中隊長以下八十名の捕虜を得て東西に峨々たる山容を連ねる天嶮九嶺山脈に分け入つた 天嶮九嶺山脈は大別山の雄大に對し嶮岨をもつて有名な山脈である、同山脈の山路は斷崖絕壁を縫つて牛も通らぬ嶮しさだ、增田部隊は懸命の作業で道幅を廣めて馬を通し或は梯子を掛け或は岩から岩に丸太を渡して馬を引く有樣は曲藝そのまゝ、部隊はどんどん進擊して十里、十五里と前進する、江側の横崖山、李家邊等の山峰は標高千三百米平均で高く雲表に聳えてゐる、道路はこの附近から益々困難をきはめ、斷崖上から踏み外した軍馬が相次いで千仭の谷へ落ちて行く、いづれも無慘な即死である、此處に落ちた馬百頭瀕死の嘶も哀れに谷底はるかに聞えたが施す術もなく

軍馬の

靈に默禱を捧げた將士は又休まざる進擊を繼續する山間の要害廟前街には三千の敵が山寨に籠り頑強極まる抵抗を試みてゐる 廿六日藤崎部隊が正面を衝けば成友、迫田兩部隊が背後に廻りこれを潰滅、廿七日一擧に山脈を突破南麓靖安に達した、この間踏破卅五里、更に部隊は休む暇もなく藤崎部隊を先頭に陷落せる南昌を尻目に西北に進路を變へて再び九嶺山脈に踏入つたが、この附近は一面の棒の林、山間の部落は富み物資は極めて豐富、部隊は雞を食ひつゝ前進、靖安西方四里水口の敵五千を擊碎、再び嶮岨な山間を辿つて進擊、山紫水明の絕景靖安西北十里山口街は豪雨の中に通過して敵三千を擊退、以後山間の鼠賊を追ひ拂ひつゝ無人の境を行くが如く一路嶮峻を北進して四月一日は塘埠、二日下水口、三日野猪崗と相次で占領、此處で最後の敵六千と遭遇、猛烈なる

山岳戰

を演じた末忽ち擊破し去つて四日には靖安、以後四五里の山路を突破して再び九嶺山脈北麓に出で武寧西南四キロ長嶺上に集結したのだつた、かくて山脈の敵を擊滅しさつた若松部隊は去月廿一日箬溪附近で敵前渡河を上流八里の地點で再び渡河、以後堂々覆面をかなぐり棄てゝ武寧城に繰込んで來たのである

蒲縣を襲擊

【○○基地十日發國通】陸の荒鷲山口部隊は十日午前の垣曲方面爆擊に續いて午後は反轉して蒲縣城を猛襲、敵軍事施設を爆碎、東進中の山西軍にも巨彈を投じこれに大損害を與へ全機無事○○基地に歸還した

ム首相、重大聲明か
チラナ放送中繼を命ず

【ローマ十日發國通】イタリー政府は九日イタリー全放送局に對し十日午後一時半天候良好なればチラナ放送局よりの特別放送を中繼するやう命令を發した旨發表した、右は愈々ムッソリーニ首相がチラナに乘込み同地よりアルバニア占領につき重大聲明を行ふ準備ではないかと見られる

アルバニア有力官吏 治維會組織

【ローマ九日發國通】アルバニア政府の有力官吏達は九日午前アルバニアの治安を維持するためアルバニア人のみによる治安維持會を組織、全會一致の決定に基きムッソリーニ首相宛左の電報を發した

吾等は貴下が從前常にアルバニア國民に示されたと同じ友情を以て光輝ある貴國軍隊を歡迎した、忠烈勇武なる貴國ファシスト軍隊により大ローマ帝國が再びこの世界に實現せんとしつゝある兆を茲に見つゝあるは吾等の喜びとするところであり又誇である、吾等はわが國民の不動の忠誠を誓ひチアノ外相により示されたる綱領の實現を待つてゐる その綱領は要約すればファシストの體制に基く自由の範疇内において秩序繁榮、社會的政治的正義を再建することこれである

英外相、伊代理大使と會談

【ロンドン九日發國通】イタリーの進出をめぐつて逼迫したバルカンの情勢を前に英國の對策が注目されてゐる折柄ハリファックス外相は九日前後三回にわたり駐英イタリー代理大使クロラ氏と外務省で會見を行つた、英政府は右會談の結果につきクロラ代理大使はイタリーのアルバニア進出は全く限定された性質のものである旨言明したと發表した

佛重要會議連續開催

【パリ九日發國通】地中海の情勢險惡化が喧傳されるに至つたので、フランス政界は遽かに色めき立ちダラディエ首相は九日午後三時より緊急國防會議を招集し重要協議をとげたが、更に午後七時に至り第二回の國防會議を開催、政府側よりはダラディエ首相、カンパンキ海相、ラシャンブル空相、ボンネ外相並にレヂェ外務局長等、國軍側よりは國軍總司令ガムラン將軍以下コルソン、ビューラーその他各國防會議議員並に陸海軍首腦夫々出席、緊迫した空氣の中に對策の討議を續けた尚右國防會議終了後ダラディエ首相及びボンネ外相はフィップス英大使の來訪を受け約卅分に亘り鼎坐して要談した、また十一日午後四時から緊急會議、十二日午後四時から下院外交委員會が夫々招集されることに決し、佛政界は愈々たゞならぬ緊張を示してゐる

"漁業協定"承認

【東京國通】外務省情報部では十日正午左の發表をなした

去る二日モスクワにおいて東郷大使が政府の承認を條件として署名した日ソ漁業條約の效力延長に關する議定書に對する帝國政府の承認は八日御裁可を經たので政府は同日東郷大使をしてリトヴィノフ外務人民委員に對し右帝國政府の承認を通告せしめたり、從つて本件議定書は茲に確定的に效力を發生することゝなつた次第である

議定書

一九二八年一月廿三日署名せられ一九三六年五月廿五日、同年十二月廿八日および一九三七年十二月廿九日それぞれ署名せられたる議定書により效力延長せられたる日本國、ソヴィエト社會主義共和國聯邦間漁業條約の存續期間は一九三八年十二月卅一日終了したるにより、又一九三八年十二月卅一日前に新條約締結せられざりしにより大日本帝國およびソヴィエト社會主義共和國聯邦の政府は一九二八年一月廿三日署名せられたる日本國、ソヴィエト社會主義共和國聯邦間漁業條約および一切の附屬文書が一九三九年十二月卅一日に至るまで效力を存續することを茲に協定す、右證據として下名は各本國政府より正當なる委任を受け本議定書に署名す

昭和十四年四月二日即ち一九三九年四月二日モスクワ市に於て本書二通を作成す

政府の承認を條件として 東郷茂德

マキシム・リトヴィノフ

駐日伯大使丁株公使信任狀捧呈

【東京國通】新任ブラジル國特命全權大使フレデリコ・デ・ダステロ・ブヘンコ・ラーク、デンマーク國特命全權公使ラルス・ペーチリッツェ兩氏は十一日午前十一時前後して宮中に參内、鳳凰の間に於て有田外相侍立の上天皇陛下に謁見仰せつけられ信任狀並に解任狀を捧呈した

稲垣局長一行十三日東上

近く東京において開催せられる日滿合同開拓會議出席のため滿洲拓植委員會稲垣事務局長は滿越屬帶同、十三日午前八時十分新京發ひかりで東上の豫定で、結城開拓總局長五十子總務處長も右會議出席のため稲垣局長と相前後して出發の筈である

人事往來

▲兒玉八郎氏（滿鐵社員）十日來京ヤマトホテル ▲岡本和夫氏（外務省囑託）同 ▲畑山一淸氏（同）同 ▲大塚勇助氏（材木商）同中央ホテル ▲平泉喜八氏（會社員）同 ▲牧浦眞一氏（同）同 ▲近藤俊夫氏（滿鐵社員）同

偶語

伊軍アルバニア進駐により全歐の危機は正に發火點寸前の感あり▼アルバニアは面積四五、三七二平方キロ、人口八十三萬三千六百我が九州の大きさに匹敵する小國である▼王國を宣言してより十四年、伊太利墺太利兩國によつて建てられた國である▼だが小なりと國家である以上默つて引込む譯にもゆくまいし第一關係國が默つてゐない▼併し伊太利としては豫定の行動であることは去る三月二十六日ファシスト大會に於けるムッソリニ首相の宣言によつて明らかである▼恐らくバルカンを掌中に收めるまで猛れる獅子は止まらうとは思へない▼火を吐くバルカンは遂に歐洲の均衡を失つた▼動き出した大石は行きつくところまで行かねば到底とどまるまいが▼これほど緊迫した空氣は曾て見ないところである

社說 滿洲視察者への注意

滿洲も愈よ春闌な時節となつた。春は旅行のシーズンである。われ〱はまた數多くの旅行者を迎へることであらう。すでに旅客殺到の兆は現はれてゐて旅館の不足さへ感ぜられてゐるやうな狀態である。滿洲視察者がこのやうに增加することはそれだけ大陸への關心が昂まつてゐる證據であり、またそれによつて大陸の實狀についての認識が愈よ深まるとすれば大いに喜ぶべきことでなくてはならぬ。ただこれまでの事實について見ると、兎角滿洲を視察する者の側で用意に不足があつたことが指摘されると思ふ。そのため折角の滿洲視察も充分な效果をあげず或ひは逆效果を生んだやうな場合もあつたと思ふのである。またこれについては在滿人の側でも些か注意を缺いでゐた點があるであらう。これはすでに協和會等では氣が付いてゐて今年からは入滿者の教育といふことに大いに力を注ぐことになつたやうであり、これは甚だ結構なことであると言はなければならぬ。大陸への關心が昂まつてゐるとはいふものゝ、滿洲支那についての日本人一般の認識の程度といふものは極めて低いものであると考へられる。たとへば協和會といふのはいかなるものであるかといふことについて正確な理解を持つてゐるものなど極めて稀れにしかゐないらしいのである。大陸についての日本人一般の教育といふことがこれまで缺如してゐたのである。然うである以上、旅行視察者をしてこれを理解せしめ、やがてその理解を一般に普及せしめるやうにすることは極めて策の宜しきを得たものと言ひ得るであらう。そしてこのやうな仕事は二、三の關係機關等に任せて置いただけでは決して充分な效果をあげ得るものではないのである、在滿人悉くがこれに對して關心を持ち努めるところがなくてはならぬのである。

なほ滿人側が有してゐる熱心な希望について注意を喚起して置きたい。それは滿洲をまた滿洲人の生活を獵奇の眼を以て見て貰ひたくないといふ希望なのである。自然が變り社會環境が異る滿洲に來てエキゾチシズムを感ずるといふことは當然なことであらうまた滿洲の現實にさうしたものを感じさす材料が多分にあることも事實であらう。しかしそれらの點にのみ重きを置きこれによつて滿洲並びに滿人についての結論を導き出してはいけないのである。滿洲の現實の中にも滅びつゝあるものと伸び育ちつゝあるものがある。滿洲を見るにはこの區別を見定めなくてはならぬ。それでなくては今日の滿洲を知り得ても明日の滿洲をトすることは出來ぬのである。この點での滿人側の要望は支持されなくてはならぬ。

第三國との懸案は公正態度で臨め

首相興亞院會議訓示

【東京國通】興亞院連絡會議における平沼首相の訓示左の如し

□

今や事變は長期建設の段階に入つたが、この建設の事業たるや戰果の獲得に劣らざる大事業で殊に對支國策は政治、經濟、文化の各般に亘り廣汎なる部門を有してゐるので國家の總力的活動を最も效果的に發展せしむる必要があり今回興亞院連絡部が開設せられ茲に中央及び現地一丸となつて眞に對支政策の樹立及び經營具現に向つて邁進する體制を整備したことは深く慶びに堪へぬところである、帝國政府の對支政策は夙に廟議で決定され客年十二月廿二日の近衛前首相の談においてその外貌を明白にされたが、現内閣においても既定方針を踏襲しあくまでこれが貫徹を決意してゐる、諸官においてもこの方針に則られて東亞に永遠の平和と安定とを齎らすべき新らしき秩序の建設に拮据せられんことを切望して已まない、但し未だ戰爭繼續中であり且つ支那においては列國との關係も極めて複雜してゐるのでこれらの關係にも充分意を用ひ關係方面と緊密なる連絡の下に處置せられんことを希望する、もとより帝國政府は國防及び國家存立に必要なる範圍を越え第三國の經濟活動乃至權益を不當に排除制限せんとするものでなくまた第三國との各種懸案は公正なる態度をもつて速かに處理することが必要なる故この點特に留意善處せられたい、終りに臨み興亞院は國民朝野の多大の期待と國家的要請により誕生せるものにして諸官におかれてはその職責の重大なるを深思内省せられ中央と各連絡部は勿論連絡部相互間においても常時緊密なる連絡を保ち仍て以て聖戰の目的達成に邁進せられ上聖旨に副ひ奉るとゝもに幾多戰歿將士の地下の英靈に應へられんことを切にお願ひする次第である

會議第一日

【東京國通】興亞院連絡部長官會議第一日は十日午前十一時から首相官邸に開催、平沼首相、有田外相、石渡藏相、板垣陸相、米内海相、柳川興亞院總務長官、現地側より喜多華北、酒井蒙疆、津田華中、水戸廈門各連絡部長官、柴田青島出張所長等出席、平沼首相から訓示あつて後柳川長官の指示があり正午首相主催の午餐會に臨んだ、午後は二時より興亞院において會議を開き、柳川長官より政治、經濟、文化の各般にわたる指示事項につき說明を行ひ各連絡部長との間に質疑應答を重ねて會議第一日を終つた第二日の十一日は午前十一時より興亞院において事務的打合せを行ひ各長官より現地の狀況につき報告あつて會議を終了する筈

第二松花江上流に六大發電所建設

總出力六十萬キロ

白頭山に源を發し間島、通化吉林三省の密林地帶を貫流する第二松花江の上流百粁を六つに斷ち切り五億の巨費を投じて總出力二百萬キロの六大水力發電所を建設するといふ素晴しい計畫が實現しようとしてゐる、即ち大豐滿の第二松花江第一發電所は八年度の完成を期し着々工事を進めてゐるが、水力電氣建設局では東滿ならびに東邊道の産業開發進展による電力需要の激增に備へ第二松花江上流の水電資源の根本的調査を急ぎ本年二月現地に派遣した總員六十名、トラック四臺の大調査隊は奥地一部を除き大部分の調査を完了歸京した、調査の結果は目下整理中であるが第一發電所の上流を更に五つの堰堤で斷ちきり第二から第六迄の發電所を建設、總計百八十萬キロから二百萬キロの發電が可能なことが明かとなつた第二發電所堰堤は第一ダムの終點に接する紅石磖子地點に建設し有效落差六六米湖水面積二百平方粁、出力四十萬キロで、第三は濛江地點、有效落差九十米、湖水面積八十平方粁、出力廿二萬キロ、第四は千牛歲子地點、有效落差九十米、湖水面積九十平方粁、出力卅萬キロ、第五は安圖地點、有效落差九十米、湖水面積八十四平方粁、出力十六萬キロ、第六は羊圈地點、有效落差二百米、湖水面積五十平方粁、出力五萬キロとなつてをり、第二松花江上流々域の殆ど全部を湖水で繫ぐことになるわけで湖水の全面積は第一ダムを合して一千平方粁を超え琵琶湖の殆ど二倍に達してゐる總出力は第一發電所の六十萬キロを合すれば二百萬キロが可能とされ、この全工費は五億圓を要するものとみられてゐるが、紅石磖子の第二發電工事は遲くとも第一發電工事の終了する八年度以前に着工される筈である

電々社員登格（四月一日付）

新京中央放送局長
副參事 馬 象圖
同 新京中央電報局長 須田 德市
同 哈爾濱管理局電務課長 多田 譽
同 大連中央放送局長 松尾 勝三
同 需品部監理課長 片山 完二
同 新京社員養成所長 荒井芳太郎
同 吉林電報電話局長 岩見 長久
同 大連中央放送局長 村田 晃平
同 電務部規畫課長 柳澤 英雄
同 承德管理局長 牟田日出清
同 經理部營繕課長 奥本 清夏
同 大連需品事務所長 小野本光次
同 總務部文書課 河本 辰彌
參事を命ず（所屬如故）
大連社員養成所第一教務係長
職員（甲） 鐵嶺電報電話局長 大廣 秀文

同 哈爾濱管理局總務課長 荻田 泰典
同 大連中央電話局技術課長 韓 樂春
同 哈爾濱管理局總務課副課長 桑村善三郎
同 新京中央電報局大同分局長 城座 良宗
同 承德電報電話局長 末武時太郎
同 技術部線路課工查係長 松山 良夫
同 承德管理局技術係長 上野 幸己
同 奉天中央電話局技術課長 長谷川梅吉
同 安東電報電話局技術課長 安藤千鶴雄
同 大連中央電話局交換課長 西田 寛雄
同 新京中央電話局技術課長 飯川 長三
同 大連中央電報局技術課長 輪竹 宅二
同 牡丹江管理局技術課長 青木 忠義
同 大連管理總務課長 石井 守雄
同 本溪湖電報電話局長 平光 治二
同 寺尾 莊吾

同 放送部放送課機務係長 坂根 晴雄
同 牡丹江放送局長 篠崎 幸榮
同 放送部放送課第二放送係長 劉 多三
同 技術部機械課電信係長 杉山 友勝
同 新京管理局 澤田 久男
同 需品部計畫課第二計畫係長 藤井嘉平次
同 電務部規畫課回線係長 關 右之助
同 新京社員養成所第二教務係長 城間 朝盛
同 奉天管理局 龜山 道麿
同 東京出張所需品係長 中山 銳雄
同 泰安鎭電報電話局長 潘 嘯如
同 電務部電話課管理係長 久保 昇
同 經理部營繕課管財係長 森重 昌雄
同 大連ラヂオ營業所長 荒木 秀治
同 大石橋電報電話局長 小林房太郎
同 海城電報電話局長 古川 繁二
同 安達站電報電話局長 趙 光甫
同 牡丹江管理局總務課長
職員（甲） 森 耕平
同 新京中央電報局通信課長 鈴木小次郎
同 哈爾濱管理局 奥畑竹次郎
同 敦化電報電話局長 早野 文雄
同 綏陽電報電話局長 松山 榮吉
同 總務部人事課給與係長 板倉 良
同 通遼電報電話局長 車 得輯
同 大連管理局 大井鑵太郎
同 新京中央電報局庶務課長 河内山隆輔
同 哈爾濱中央電報局通信課長 寺畠 信夫
同 哈爾濱修繕所長 岩崎 勇
同 新京社員養成所 三村 一人
同 新京管理局 職員（甲） 小手 增雄
同 總務部文書課飜譯係長 白石 寛
同 電務部電信課外信係長 町田文字良
同 哈爾濱管理局經理課長 高師 保
同 總務部文書課庶務係長 佐古 茂樹
同 錦縣電報電話局長 森 照
同 牡丹江管理局電務課長 野原 太市
同 孫呉電報電話局長 有馬 吉夫
同 奉天中央電話局庶務課長 矢吹 誠明
同 齊々哈爾管理局經理課長 沖 幹三
同 新京中央放送局副局長 金澤覺太郎
同 經理部主計課豫算係長 中井德次郎
同 奉天中央電報局通信課長 職員（甲） 遠部 又男
同 總務部考查課資料係長 佐瀨 昌武

同 需品部計畫課第一計畫係長 武部 九郎
同 綏芬河電報電話局長 渡邊 貞治
同 總務部文書課
副參事を命ず（所屬如故）
同 牡丹江需品事務所長 職員 生出 計衛
同 需品部購買課契約係長 下田丑十郎
同 總務部考查課 岩崎 武夫
同 大阪出張所庶務係長 山地 德一
同 赤峰電報電話局長 森 周
同 放送部普及課加入係長 高塚 嘉一
同 電務部規畫課 職員 中山 政繁
同 新京ラヂオ營業所長 西澤 新吾
同 需品部購買課購買係長 小池日出夫
同 經理部主計課 山口 良雄
同 大連管理局 土岐 治雄
同 大連中央電話局加入課長 谷口 齊
同 大連管理局 片伯部 亨
同 瓦房店電報電話局長 山内 經人
同 大連管理局 高橋 莊一
同 大連中央電報局沙河口分局長 高橋 涉
同 錦縣電報電話臨時在勤 佐藤壽太郎
職員 依蘭電報電話局長 竹内 武士
同 阜新電報電話局長 佐々木末吉
同 奉天管理局 永里 正德
同 奉天中央放送局庶務課長 木村 武男
同 安東電報電話局電報課長 小平 義輝
同 奉天需品事務所長 山崎 秀雄
同 奉天中央電話局交換課長 松村 淑郎
同 奉天管理局 森山 英男
同 山海關電報電話局長 野田 健吉
同 圖們電報電話局 奥平 正行
同 承德管理局總務係長 矢吹市四郎
同 哈爾濱管理局 清田 滿
同 哈爾濱中央放送局庶務課長 和田 博三
同 齊々哈爾電報電話局 中村 浩和
同 三岔口電報電話局長 野口 辰一
同 新密山電報電話局長 櫻井 山城
同 佳木斯放送局長 金澤 清
同 大連中央電報局 稻垣菊五郎
同 虎子 電報電話局長 大塚 憲一
同 牡丹江電報電話局 小川 忍道
同 大連社員養成所第二教務係長 坂上 寛治
同 丸岡 侵
同 岩永 信季
同 松園 文俱

同 新京社員養成所 筒井 春次
同 經理部營繕課建築係長 松田 茂三
同 技術部無線課 長竹 信行
同 大森 忠夫
同 技術部線路課 寺島 功
同 田村 英一
同 技術部機械課 赤木 研三
同 大阪出張所需品係長 山本 博光
同 長屋 準
同 奉天管理局 草柳 武
同 大連管理局 松元 三船
同 營口電報電話局 德永 季夫
同 大連中央電話局伏見分局長 下鹽 留忠
同 奉天中央電報局無線技術課長 山田比良喜
同 奉天中央電報局 馬淵 俊男
同 新京臨時無線工作所長 黒田 滿輝
同 新京管理局 惟住 凱勝
同 新京中央放送局技術課長 河野 政治
同 新京中央放送局 保坂敬太郎
同 哈爾濱中央電話局 祉 和夫
同 哈爾濱中央放送局技術課長 田畑 禎治
同 哈爾濱中央電報局技術科長 重本 春次
同 齊々哈爾電報電話局 橋本 正文
同 齊々哈爾管理局 松尾 侃
同 牡丹江管理局 原口 平八
甲種職員を以て待遇す（所屬如故）

小兒科專門 古野医院 電3-5243 角南裏社神京新七通日八

解消の一途を辿る アルバニア國情

ドイツのチエコ、メーメル併合以來歐洲の政局は俄然爆發點に達し英國は對獨包圍陣結成に躍起となつてゐる一方獨伊樞軸は益々强靱性を增してゐるかの觀を呈してゐるが先般のドイツの採つた行動に次いでイタリーの鋒先は何處に向くかは民主々義國陣營殊に英佛に對して重大關心を與へた、果せるかなイタリー軍の精鋭は四月七日早暁アルバニア海岸に上陸、破竹の勢をもつて進撃を續け、アルバニア全土の占領も時間の問題となり、正に第二のチエコとならんとしてゐる、歐洲地圖から姿を消さんとしてゐるアルバニアとはどんな國か以下簡單に述べてみやう

□

アルバニアはバルカン半島の西部にあり東北はユーゴースラヴイアに、南はギリシヤに夫々接し西はアドリア海に面し面積二七、五三八平方粁で滿洲國の四十七分一、安東省よりは少し廣い大きさである人口は約百萬で、三江省の人口と略々匹敵する、住民は大體北部のゲッグ族と南部のトスク族とに分けられるが國民は元來バルカン半島の放浪民族であり十九世紀の終りまではトルコ國に屬してゐたが一九一二—三年のバルカン戰役でヨーロッパ・トルコが分裂した際オーストリアとイタリーとの援助の下に獨立したものである、一九二六年イタリー、アルバニア間にチラナ條約を締結してアルバニアは事實上イタリーの保護國と化し一九二八年國民議會は君制採用を決議、ツオーグ大統領は國王に選出されツオーグ一世と稱し、かくて新政體は各國の承認を經て現在に至つた、新國家體制は民主々義的、議會主義的獨立君主國で國教は定められず、立法權は一院制の議會である、イタリーはアルバンアに對して一九二七年十一月廿五日の第二次チラナ條約によつてアルバニアにおける一切の主要事項、特にバルカンに關する諸問題に容喙する權利を有してゐたのである、このやうにイタリーとアルバニアとの關係はアルバニア獨立當時から續けられたもので、兩者の關係は單なる地理的環境からだけではなく、政治的、經濟的、軍事的立場から言つてもイタリーの對外政策の根幹をなすものであつたいまイタリー軍の進駐によつて解消へのテンポを急いでゐる、この國の諸事情を紹介するに當つて筆者はアルバニアの諸事象特に經濟組織は極めて原始的であると斷ぜざるを得ない、大部分の土地は未耕作のまゝである、これは國内の大部分が荒地で山が多いためであらう、産物の主なものは煙草材木、羊毛、獸皮等で、その廣大な森林地帶からは樫クルミ、栗、松等の樹木が多く産する、鑛物資源も豐富だが、まだ開發利用の域に達してゐない、國民は大體南北兩族に分たれるが、何れも群小種族で群居の狀態にあるため國勢は常に不定を續け、一般の社會文化は全く振はず、歐洲においては珍らしい未開の國でいまだに何百年來の酋長制を保存してゐると言ふ狀態だ從つて國民は一般に原始的風習が濃く民謠、舞踊にも野趣横溢するものがあり、しかも獨立以前から國内の草賊叛亂と多年のトルコ壓制、教育制度の不完全のため國民に文盲の徒多く、國民の殆んどは利己的で自暴自棄の生活を續けてゐる、酋長は土人から種々の徵發を行つて贅澤な暮しをなしてゐるが、面白いことは世襲的ではなく暴力によつて酋長の交代もされてゐる、東部奥地では掠奪結婚の蠻風が行はれてあり、しかも結婚生活は女性にとつてあくまで奴隷的で、種々の勞働は全部引受け、男は遊獵と賭博に耽つてゐる

この原始的風俗は要するに國民が永い間不安定な國家狀態の下に置かれてゐたゝめ一定の生活形式を有せず、盗賊、鬪爭、惰眠、殺戮等を相變らず繰返し、例へば物を盗んでもアルバニアでは犯罪とならず、盗まれるやうな物を持つてゐること、盗まれるやうな隙があつた本人に責任があると言ふことになつてゐる、十九歲から五十歲までの國民は全部兵役に服する義務があることにはなつてはゐるが、兵士になつてもこれ等の癖が直らずロの惡い外人にはアルバニアの軍隊は賭博兵であるとまで極言されてゐる程である要するにアルバニアと言ふ國は現在までの存在過程から見て、結局イタリーに隷屬するのが至當で、かうなる事がイタリー並にアルバニア國民にも幸福を齎らすものであらう、高度の文明を誇る歐洲の眞ん中にあつて唯一と言つてよい位の未開國アルバニアが、現在まで存在してゐた事自體が世界の不思議であつて結局國家を維持するだけの國民力を有しない現在の所謂「獨立」そのものが不合理なのではあるまいか

長春地區聯合協議會第一日

協和會康德六年度長春地區聯合協議會第一日は十日午前九時から首都本部大會議室で長春縣李、近藤正副縣長以下縣公署各科長、稅捐局、地籍整理局、金融、農事合作社關係者並に矢口地區本部事務長、分會代表等卅名出席のもとに開催、先づ矢口事務長の開會の辭、國旗に對し敬禮、帝宮遙拜しについで李地區本部長は「回鑾訓民詔書」「協和會に賜りたる勅語」を捧讀省部長の訓詞（宇治職員代讀）會務現狀の報告の後、代表氏名の點呼、正副議長の任命あり議長に蔡秀泉氏、副議長に賈至清氏を任命、正副議長より致詞あり、ついで宣誓文起草委員會、議案整理委員會諮問事項審議委員會等各種委員會を設置、それ〲委員を任命終つて矢口事務長より昨年度長春地區聯合協議會決議事項處理經過の報告あり、右報告に對し質疑應答の後一同會場前で紀念撮影をなし正午晝食のため休憩、午後は一時から續開まづ李縣長より縣政施政方針の說明、地籍整理局小田切科長より同局施設方針の說明、高城長春縣金融合作社理事より同社事業方針の說明、蒲生長春縣農事合作社總務より同社事業方針の說明あり、終つて堵宣誓文起草委員會委員長より同委員會の經過報告、劉議案整理委員會委員長より同委員會の經過報告が行はれた、なほ協會は十三日まで四日間開催される

人事異動

政府は十日左記人事異動を發表した

任建國大學教授（薦一）（四月一日附） 森 信三

任産業部事務官 石田 芳穗

任産業部理事官（薦二）補官房物資調査科長（四月八日附）

（農林省營林局技師） 大川 大三

任林野局技正（薦一）補運輸科長（三月廿五日附）

飛行協會擴充

滿洲飛行協會では時局に鑑み一般に對し航空思想の普及發達をはかるため全滿各地に支部、分所を設置すべく着々準備を進めてゐるが、今までに決定を見た支部は安東、營口分所より支部に擴大されるもの吉林、撫順、チチハル、このほか牡丹江に近く支部設置の運びとなつてゐる

星野長官東上

星野總務長官は廿日頃より東京で開かれる日滿連絡開拓會議出席のため來る十四、五日頃飛行機で東上することゝなつたなほ現地側日滿各關係者も前後して東上する豫定で星野長官は會議終了後しばらく滯京し日滿物動計畫産業開發その他當面の重要問題について日本側關係各省と意見を交換の筈で歸滿は來月初旬とならう

大津總長東上

大津關東局總長は大連市長官選問題その他對滿事務局との事務打合せのため十日午前七時五十分新京發飛行機で東上した なほ大津總長は本月末まで東京に滯在の豫定である

春の活躍馬を探る

大房身の熱狂近し

玉飛、榮生(谷尾)突擊(清水)を觀る

春は大地に伸びて陽光玲瓏、大房身の風雲を衝くものは第二段階に入る駿馬の調教である、早くも春競馬は二旬余に迫つて各厩舎は一齊に本格的攻馬の火蓋を切つた、古豪新進の脚光多彩、そよ吹く春風に興味を乘せて大房身は今無氣味な香ひさへ流れてゐるのである

△ ▽

厩舎巡りの後を縫いで春競馬に活躍を期待される各抽古馬外馬、障碍、さては新抽、呼馬界の駿馬を拾つてシーズンを待つ競馬ファンにニュースを送らんとするが、既報の通り今季から負擔重量の改正に伴つて聊か番狂はせ競馬を豫想されてゐる、事實カンカンに泣く古馬邊りには一滴の清涼を喫するに價するもので、春競馬に待つ期待は一段と奥深いものがある、然し例によつて昨年邊りの一流强豪どころは以然として脚に自信があり人氣の中心は形の如く古顔に集まることは間違のないところで殊に興味あるものは前年故障に喘いだ挽回組の擡頭である、然し人氣を背負ふ優駿の顏觸れには大同小異であることは疑ひのないところである、各抽界前半の鞍を狙ふ各厩舍の强豪をピックアップして見よう

△ ▽

谷尾厩舍 の名駿としてファンより馴深のある玉飛は本年度各抽界のナムバーワンを確保するに違ひない、昨年秋一次、二次と惜しくもチヤンスを逃がしたが、最後の第三次には見事に優勝一段の躍進振りを見せて馬格を上げたのであつた、その際後左脚を負傷して全治を氣遣はれたが現在は全く全快、素晴しい脚速を見せ乍ら調教に叩かれてゐる、であるから玉飛に余程の蹉跌がない限り古抽界の優勝候補として筆頭に擧げねばならぬ駿馬である、次に榮生の存在である、榮生は昨年の春抽である同年秋古抽に入つて三回目に鞍を上げ、既にその馬格は定評を持つところで、本年も强豪に喰下り相當な成績を擧げるものとして各抽では玉飛と共に人氣がある

△ ▽

清水厩舍 の各抽ではダークホース突擊の外新勇の躍進である、突擊といふ馬は何時でも頭張り强く相當無理をしても我慢するところにこの馬の生命を持つてゐる、昨年も故障氣味乍らよく頭張り通した馬である、昨年秋三次の優勝レースに於て好走をなしホームストレッチに掛るやラスト物凄く追込み三着に入賞して突擊の氣焔を吐いた程であつた、今尚ファンの印象に殘る記憶であらう、本年は全く故障から立直つて好調にあるからダークホース突擊の名を發揮するに充分なものがある、カンカン等も相當輕減されるがこの馬は余り苦にする馬でない、更に新勇の好轉である、今の調教による成績から見れば突擊に一日の長ありと見て差支ない、兩馬共前半の穴馬として見逃す事は出來ない

（野口生）

第三國向輸出停頓し 圓ブロック躍進

第一四半期貿易概況

本年度第一四半期の滿洲國對外貿易は輸出二億三千四百餘萬圓、輸入三億二千三百餘萬圓差引入超八千八百餘萬圓で前年同期に比し輸出に於て二千八百萬圓、輸入に於て九千六百萬圓をそれぞれ增加し全體的には輸出增進の跡顯著なるものがあるが、輸入部面の跛行的增大の結果貿易尻において前年同期に比し六千八百餘萬圓の入超增を示現するに至つた

尤も一概に輸出入增加と言つてもこれが内容を國別に見るときは增加分の九割以上は對日並びに對支輸出增加に基因するものであり、日支を除く對第三國貿易は輸出において五百萬圓、輸入において二百餘萬圓をそれぞれ減少し、こゝに第三國貿易は輸出入共に停滯萎縮し今後の傾向が如何に展開するかについて各方面より至大の關心が拂はれてゐる、而して第三國向輸出減退の内容を見るに大豆その他特産輸出の不振によることは勿論で例へば大豆、落花生、蘇子、大麻子、豚毛の如き從來主として歐洲向輸出農産物は全面的に減少し豆油も對支輸出のみ旺盛にして第三國向は依然として沈滯してゐる

これが原因としては内外種々なる原因の競合の結果ではあるが、就中日本物價高の影響が最大の原因と見られるので先づこの影響を遮斷することが刻下の急務とされ、更に第三國向輸出振興の積極的方策としては第三國向輸出のうち獨伊向協定貿易の增進は好ましいことには相違ないが、これがために特産價格の合理的引下げが困難となり、ために非協定國向輸出が反動的に阻害されるといふ意外の逆作用が伏在するので、この點についても何等かの措置が必要とされ當面の問題としては在滿外商に對する取引助成方策を講ずることが賢明なる捷徑ではないかと見られてゐる、なほ本期における輸入金額の增加は單價の昂騰に基因せるものでその内容を見るに生ゴム、木材、銅、機械、車輪等の建設資材輸入は鐵鋼を除き何れも著增を示し、米、小麥粉、魚介、葉煙草、砂糖等食料品類も相當增加し綿織物、繰綿の激減に反比例して人絹織物の躍增が眼立ち、更に麻袋、紙類も相當增加してゐる

第一四半期貿易實績（單位千圓、△印減）

品目	本年	對前年同期比增減
粟	七、八六九	四、三一六
高粱	三、八二四	五、三二六
包米	一〇、六六四	四、五六三
落花生	二、五一五	三、一四三
荏胡麻子	二、三七三	二、七六〇
大麻子	七〇九	一、六九一
大豆粕	三一、三三六	二四、七一〇
大豆油	七、一四六	六、六九一
荏胡麻子油	一、七六八	一、一三八
豚毛	一、三七六	一、八八〇
△輸出		
日本	一四三、九九三	三三、五六四
支那	三六、〇三四	一〇、七六六
第三國	五四、八一四	△五、三二七
計	二三四、七六〇	二六、一一五
△輸入		
日本	二三二、〇六九	六六、八四四
支那	二七、四七四	三〇、二一三
第三國	五四、六九六	△二、三七五
計	三二三、二三八	九六、五七四

△重要輸出品比較（單位千圓）

品目	本年	前年
大豆	八五、九九一	七七、六〇六
皮革及毛皮	二、〇四六	二、四五五
野蠶絲	七、四五八	二、三三七
石炭及煉炭	四、二七九	五、六九四
マグネサイト	八九五	六四〇
硫安	四、〇五六	一、二四六

△重要輸入品比較

品目	本年	前年
生ゴム	一、三九九	八六六
コールタール染料	一、六八一	三〇八
米及粟穀	五、九〇〇	五七九
小麥粉	八、〇二二	六、五七六
魚介類	五、七八二	二、六六七
砂糖	七、三六三	六、一四九
茶	六一六	八〇〇
葉煙草	三、〇二三	一、三九五
皮革及毛皮	一、五五七	二、三六七
木材	八、二〇四	三、〇〇四
繰綿	一、三三一	四、六〇六
綿織物	三、五五八	二六、三六九
毛織物	六、九一一	四、〇九五
人絹織物	一六、二九六	五、〇二四
麻袋	七、〇四四	三、七四六
紙類	六、八二八	五、七六九
鐵鋼	二〇、六〇五	三二、四七四
銅	二、六九二	一、七一三
電氣器具及裝置	一〇、一六〇	六、六五七
車輛及同部分品	二〇、一五七	一〇、三三〇
機械及裝置	三三、三六九	一四、八九五

日滿商事增資問題

六月までに解決

懸案の日滿商事增資問題は既報の如く倍額の二千萬圓增資に對し日本政府よりの認可があつたに拘らず同社資本構成の改訂に關し滿洲國側よりの希望申出により改めて檢討の餘地を殘し同社株主總會の開催も延期のまゝ今日に至つてゐるが、その後右問題は滿鐵と滿洲國政府側との間に政治的折衝を終へ兩者の談合によりこの程現地における事務的折衝を了したもの〻如く今後對滿事務局、滿洲國政府兩者間に協議を遂げた上遲くも六月までには株主總會を開催、解決を見る模樣である、即ち同社增資の件に關しては大體當初の倍額增資程度に止め、資本構成の改訂に關しては大體滿洲國側の希望を容れ滿鐵現在の持株五十一パーセントを一部滿洲國側に讓渡、增資は手續上の煩雜を避けるため持株配分の改正を行つたのち手續きをとる順序に成るものと見られるが、右に伴ひ同社は現在の準特殊會社から特殊會社に法人格の變更を見ることゝなる譯である

外粉購入交涉開始

小麥粉需要增大見越し

本年上半期における國内小麥粉需要は土建界の需要期を控へ、國境建設その他産業開發の積極化に伴ひ相當增大されるものと豫想されるので、政府當局においては目下これが補給方策につき愼重研究中であるが、差當り左の方法により外粉輸入方針の決定を見た模樣で、これにより小麥粉不足問題は完全に解消される見込である、即ち

一、本年上半期における天津粉の輸出餘力は大體二五〇萬袋、そのうち一五〇萬袋を對滿輸出に振向かはしむその具體方法として滿洲國側の四、五兩月における對支輸出は七〇〇萬圓に達する見込なので、北支當局と交涉し右滿洲特産輸出と天津粉輸入とのバーター制により一五〇萬袋を輸入す

二、中支の小麥粉輸出餘力は毎月二五萬袋程度と推定されるので、その四ケ月分即ち一〇〇萬袋を對滿輸出に振向かしむべく中支當局と交涉す

三、日本粉の輸入を五〇萬袋と豫定し、その輸入方法ならびに時期につき日本當局と折衝す

四、殘餘の二〇〇萬袋については濠洲粉若くは北米粉を輸入することゝし、これがため一千萬圓程度の爲替手當を行ふ

五、以上の外粉輸入については國内統制價格との調整を行ふため輸入關税（一袋當卅七錢）の免除を實施す

北支交通 十五日北京で發起人總會

種々の事情で遲延してゐた北支交通會社の創立は愈々十五日と内定、近く閣議の決定を見て正式發表されることゝなつた、而して同社發起人總會は同日朝北京に於て北支開發會社大谷、山西正副總裁、滿鐵大村總裁、伊澤理事、臨時政府關係者等が出席の上開催され北支交通會社の誕生を見るが、これによつて北支交通會社は十五日正午を期して業務開始をなす筈である、なほ同社の資本金は三億圓（開發會社一億五千萬圓、滿鐵一億二千萬圓、臨時政府三千萬圓）である

大村滿鐵總裁

北支交通會社發起人總會出席のため大村滿鐵總裁は十三日午後五時二十五分奉天驛發滿支直通列車で北京に赴くこととなつた、尚同總裁は北支より歸奉後新京へ赴き二十日頃東上關係各方面に新任挨拶を行ひ五月中旬頃歸滿の豫定である

滿鐵重役會議

滿鐵では十一日午前十時より鐵道總局に大村總裁、佐々木佐藤兩副總裁、以下各重役出席の下に昭和十四年度追加豫算審議の重役會議を行ふことになつた、なほこれがため佐々木副總裁は十一日のはとで來奉、十二日あじあで歸任の筈

商況欄（十日後場）

各地株式市況

●大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	三〇八	三〇七
東新	一三八九	一三八九
滿業	七三〇	七三〇
鐘紡	一四五〇	一四五〇
滿鐵	七七〇	七七〇
新鐵	六四五	—
大滿	六七九	六七〇
豆新	—	—
土木	—	—

●奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
滿取	—	—
東新	一三八七	一三八九
大新	—	—
滿業	—	—
同新	—	—
日產	—	—
五品	—	—

新京取引市況

先物	寄	引	出來高
●大豆			
四月限	六八四	六八〇五	四二三車
五月限	六八九	六八六	三三車
六月限	—	—	—
七月限	—	—	—
●高粱			
四月限	五〇七	五〇八	七七車
五月限	五三〇	五三三	五〇車
六月限	—	—	—
七月限	—	—	—
八月限	—	—	—

手形交換高（十日） 九七六枚 一三三六、〇〇三、六八錢

讀者の領分

投稿歡迎 中傷不可

道路無斷使用に就て（一市民）

最近警察當局の取締にも應ぜず、道路を無斷使用するものあり、殊に商店街に於いてとくに甚だしい、歩道を使用する爲に歩行困難にして、つい車道に出て歩行すれば之又危險にして馬車、自動車の往來も實に繁しい、之が爲萬一事故で起した場合は双方共苦痛である、その場合に歩道を使用せる者に於て負擔すべきや決してそうではなからう、歩道を無斷使用するものは道德心の缺乏してゐる證據だ、此處に例を擧げれば大經路、五馬路角より、大經路小學校に至る道路の兩側、朝日通と東一條通との角附近は實に甚だしい、又朝日通りも同じ、國都新京の町至る處使用してゐる、當局は、もつと〱取締つて戴きたい

母國訪問記

(10) 敷島高女旅行團便り

江の島―東京 さびしく碧波をへだてた海の中に孤立してゐる江の島、昨夜の雨もからりと晴れてお部室には太陽がさん〱とさし込んで居る、窓より眺むれば七里ヶ濱はその名の通り單調な波打際をつらねて居るが、寄せては返す波のゆるぎは海に惠まれてゐない私達の目を飽かず樂しませた、次に新田義貞が刀を投じて有名な稻村ヶ崎を望めば魂は八百年前に遡つてあの巖頭に立つた時の義貞の苦衷がしのばれる。すぐ目の前の向岸には目指す敵が陣を構へてゐるのを見す見す滿潮にさへぎられて、渡ることが出來なかつた義貞の千々に亂れた心は想像するに難くない。劍を投じて一兵卒に到るまで無事に渡ることが出來、目出たく敵を打破ることが出來たのは本當に神の助けと云へよう。宿屋を出て少しじめ〱した坂道を行き、眺望台にたどりついた私達は麗峰富士の姿を目の前に見た初めて名高き富士を眺めた時何か發見でもしたかのやうに嬉しかつた。その感激は到底筆や口で云ひ表すことが出來ない程であつた。

◇ ◇

江の島より電車にて鎌倉へと向つた。途中長谷で下車し名高い觀音様大佛様を見學した。觀音様は最も大きく又最古の建物である。若葉のくつきりと明るい色のバックに惠まれてゐる大佛の美しさ、柔和な優しい感じを受けた、奈良の大佛様よりはるかに美男子でおはします。胎内に入ると長生きをするといふので私達は我も〱と入つた。それからすぐ鶴岡八幡宮に詣でた「しづやしづしづのおだまきくりかへし昔を今になすよしもがな」と舞つた靜御前で名高い舞台を過ぎ、石段の傍の大銀杏が有りし昔の實朝の古事を語つてゐる本殿の右には第十六代仁德天皇が民草のかまどの煙のたちのぼるのを御覽になり非常にお喜び遊ばされ「高きやに登りて見れば……」とおよみになつた高殿を拜觀した。それから再び電車で鎌倉に向つた。鎌倉は屹度古風な町であらうと豫想してゐた私達の期待は裏切られて思つたよりモダンな感じで失望した。遺跡が多いので避暑の地として別莊が建てられてゐるからであらう。細い木立ちを通り賴朝のお墓へお參りした。この苔むすお墓の下に一世の英雄賴朝が眠つてゐる事を思ふとそゞろ哀れに感じた。逆臣足利尊氏が後醍醐天皇の第三皇子であらせられる大塔宮を九ケ月間おしこめ奉つた土ろうを拜した。恐れ多くも金枝玉葉の御身を以て、このけだもの〻すみかのやうな土ろうに九ケ月間お生活遊ばされたその當時の御心境を思ふと私達は非常にふんがいした。

◇ ◇

三浦半島の東北海岸にある第一海軍區軍港たる横須賀へと出發した。横須賀についたのが零時二分、小さな蒸汽船で戰艦山城を見學した。親切な水兵さんの説明を一語ものがすまいと一心に耳をかたむけてきいた。巨大な大砲、大いかり、種々の機械、千三百人の食事をうけもつ大がま等驚くべきものが多かつた。艦中では日曜にもかゝはらずその各自の仕事を熱心にしてゐるものや、甲板でデッキゴルフに打興じてゐられる人もあつた。次に日露戰役に我聯合艦隊旗艦として日本海大海戰に偉功をたてた名譽の軍艦三笠を見學に行つた。艦體にうけた多數のだんこんはその當時の激戰を物語つてゐる。艦橋に立つた時髣髴として東郷元帥の御姿がうかんでくる様な氣がした。港のあちらこちらに泰然たる我が日本の海の守りを一手に引うけてゐる軍艦の勇姿に頼もしさを感じた。日露、日清の戰役に名譽の戰死をなさつた勇士のお寫眞を見た時たゞ感謝の思ひで胸が一杯であつた。やがて横須賀見學も終へて私達はあこがれの東京に向つた（八島、足立記）

（カツト……中野政行畫）

—小說— 冬來りなば (3)

盬田聖作

二日は過ぎ、彼淸は小さい宿の一室に幽香子を訪れた。宿の女中達が、〝變な目で見だした今日この頃、職は無し、實に哀れな存在である。淸を迎へた彼女は生みの兄を迎へる如く嬉し淚にくれた。持參した僅かの金をおし戴いた。淸も別に、職も見當らぬ今日何時迄宿屋に居ては不經濟だから、それに、この少女の身にどんなサタンの手が延びるやも分らぬ。さう思ふ自分は絕對にやましくない、唯、この貧しい少女、寄るべ無き小羊を救ふだけなのだ、自分は絕對にやましくは無い、天地に誓ふ、これからもやましくはならぬつもりだ、と決心した。さう決心し乍らも、目の前の彼女のウルシのやうに眞黑い髮が、無造作に後に編んで下げてある。化粧をして無い顔は色白く血色の良い顔はけがれ無き乙女であるのを象徴してゐるやうに、つや〳〵しく輝いてゐる。細い鼻は母親の美しさを物語るが如く、淺い眉毛は、二重瞼の大きい瞳に直ぐ迫り時々キラ〳〵と輝くのは、南國で生れた女の情熱を思はすのか、唇もルージュにぬられて無いのに何んと瑞々しい美しい色をしてゐるのだらう。この子が一人でよくまあ無事に此處迄やつて來たものだ、と思つた。さうして、自分のやうな安全な心の持主に助けられたのも、彼女の得であつた、と何んとなく良い事をした後のやうな、快さを味あつてゐる淸の心も知らぬげに、幽香子の眉は曇くなる。

〝あの私は外に職が無いのです、見つからないのです、誰も知つた人が無くて世話もしてくれませんもの。本當に私は、貴下の今夜お訪ね下さる事を夢にも思ひませんでした私はだつてあの日、態良く斷られたとしか、今迄思はなかつたのですもの、私は貴下の御親切をどうしてお返ししたらよいのでせう。私には何もかも分らない事ばかしですわ〟

〝いゝえ、決してそんな御心配も要りません、唯私は、お氣の毒な貴女を一寸お助けしたいばかしです。どうぞ僕を〳〵この時初めて僕と言つた。さうして何故こんな小娘に叮嚀な言葉ばかし口を出るのか、分らなかつた。〝信じて下さい僕は惡いやうにはしません。然し僕だつてしがないカフエーの一使用人なのです。銀行や會社に貴女を、お世話する事も出來ません〟

〝まあ銀行や會社？ そんな立派なところに、私は何も働けませんわ、だつて、女學校だつて四年程度で、何も知らない田舍者ですもの〟

〝では貴女はどんな働き口を〟

〝えゝ女中でいゝのです、唯一人で働けさへしたら〟

〝私は體は丈夫なんです、それだけなんですもの—〟

〝女中なんていけません〟と思はずこはい目をした。

〝そいぢあ仕方がない。カフエーなんていかんけど、あそこの店の手傳ひをして下さい。いゝえ、決して客の前に出るのではありません。女給さん達のお使ひや身の廻りの世話や、座敷の掃除なんか〟

かくして幽香子は〝あけぼの〟カフエーの女中さんとはなつた。然し何れも初めだけであつた。客がたてこみ、女給が、入れ代つたりして手の足りない時は、彼女も醉客におぼつかぬ手つきで、ビールをつがねばならなかつた。さうした時、バーテンダーの淸は、スタンドからあのこわい目をして彼女をにらんでゐる。

〝あけぼの〟に世話になるやうになつてから、何かにつけ優しくいたはつてくれる彼、兄のやうな淸の態度に、彼女は安心して何でも打開け、なついた。全く彼女は、少女であつた。けしの花の中のそのあくどい赤い色の中の、唯一つの小さい谷間の白百合のやうであつた。そして淸かつた見樣見眞似で、髮にコテを當てたり、うつすら化粧をしたりした背の高い彼女の姿は、〝あけぼの〟の主人が店に出したがるのに不思議は無い。淸は、主人に遠縁の娘と言ひ店の手傳ひ等はなるべく、こばみ、嫌がつた。それなのに一年の間には、立派に彼女を女給一個の職業婦人としてやつた。初めは恐れを抱いた夜のカフエーの中の狀況も、馴れゝば、こわくない。醉客の下らぬ冗談も、彼女には分らぬ事であつたので、別になんともなかつた。

農民小說の惡い見本

—和田傳「嚀」（「中央公論」四月號）—

一時の風潮に乘つて農民小說なるものはなほ大いに流行してゐると見える。これもその一つなのだが、これは何としてもいたゞきかねる。

水兵から二十年たゝきあげて少尉になつて死んだ男、その殘された妻、義妹、姉等をめぐつての遺產爭ひを描いてあるのだが、結局この人事紛糾のうるさゝを描き出したゞけで、個々の人物はわれ〳〵に訴へて來るまでには書かれてゐないのである。

物語の筋だけで小說は出來上らないといふことを知るべきである。作家生活多年のこのやうな作家にしてそんな道理が判らぬ筈もないのに、このやうな醜態を示してゐるのは需要が多過ぎて間に合せの仕事を賣りに出すそのせゐではあるまいか、排すべきである。（御垣衞士）

大同劇團の歩んできた道 (5)

藤川研一

日本の九州の一倍强近くの老大な地に、僅か八十萬（奉天市人口に同じ）の人が住む東邊道、いやこれは全滿各地ともに同樣であるが、この人々を對照とする演劇移動活動の困難さは、實踐への參加なくては解し得ぬものである。

零下三十二度の酷寒下、校庭に急造されたアンペラ舞台での上演は、觀客とゝもに震へつゝの二時間だつたゞけに永久に忘れ得ぬ印象である。俳優、二千名に餘る觀客共に滿洲國ならでは存在し得ぬものである。

一行九名中、女優馬雪鶴があつたが、彼女の熱意と努力は、滿洲演劇史上特記さるべき殊玉である。

上演場所は通化全省に亘つてゐる。

通化（二回）林子頭、三隊臨江（二回）、崗頭（二回）松樹鎭、撫松（二回）二道花園子、濛江（二回）金川、龍泉鎭（三回）

金川縣城は殆んど、最後のコースであつたが、匪が追はれて吉林省樺甸縣に集結しつゝあるため、各地國軍の移動に伴ひ、再び濛江縣に引きかへし、小部落龍泉鎭に待ちうけて國軍の慰安を行つた。

崗頭は、鴨綠江上千四百尺の斷崖上にそゝり立つ山であるが、山上より長白縣境近く迄輕便鐵道の敷設がある、之は鴨綠江採木公司の運搬用私設鐵道であるが、金日成匪が約三百この鐵道沿線を中心に密林を利用し蠢動してゐるので、約〇〇〇名の國軍が討伐に入つてゐる。

この兵の慰問に赴いたのである。薄氷の鴨綠江上四十粁のトラック行は、今想ひ出すだに盜汗三斗である。

吹雪の多いこの地方は、その日もひどい吹雪だつた。貨物車に凍つたやうになつて乘つて來た兵が、どれ程の感激をもつて、私達を迎へてくれたかは、筆では盡し得ない。

演後、再び貨車上の人となり、笑ひ乍ら元氣に出發した〇〇〇名の兵士の顔が、今尙眼底に燒けついてゐる。——演劇運動にたづさはる身の幸せだ、しみ〴〵と感じさせられたものである。

一々、その感激談を述べては、何時果つともない。私達は無事に皈つて來た。そして、劇團第二段階へと進みつゝある。

私達の活動は、決して誇り得る、大なる功ではなかつた。併し、開拓、創造しゆく滿洲演劇の第一步を、力强く踏んで來たことだけは、聲を大に叫び得る。——同時に、今日迄の成長に溫い支援の腕に抱いて下さつた「弘報處」「協和會」「治安部」「關東軍」「電々」「滿鐵」の、力を感謝こめて、改めて御禮申上げる。

×

かうして「大同劇團」は成長して來た。そして今又「劇團專門化」を公表し、そのスタートを切らうとしてゐる。

現在の滿洲に於ては、專門劇團としての活動は、過去のそれに比ぶべきもない困難さを持つてゐる。——而も尙、劇團は專門劇團として活動せねばならぬ立場にある。私達は今年度こそ、滿洲新劇團の眞面目を發揮し得る活動を續ける。

各位の理解ある、支援と指導を紙上をかりて御願ひしたい。

本年度のスケジュールを發表して、むすびとしたい。今後共、劇團に對しての注意、希望について、御意見を頂き度い。

一、年四回定期大公演（於新京）
一、大連、奉天、安東、哈爾濱一年二回乃至は三回の定期公演（各地との提携公演を含む）
一、常時、移動班をもつて、地方農村に赴く
一、北滿各地巡演（哈鐵の懇望による）
一、ラヂオ放送
一、滿映とのアトラクション
一、滿映と提携、映畫の撮影
一、日本新劇團との全滿共同公演
一、秋季各地劇團との演劇コンクール
一、機關紙出版
一、脚本集出版（地方よりの要望）
一、各地方劇團への指導

むすびにあたり、私達はかうした希望をもつてゐることを述べておきたい。

×

私達は全滿各地に縱橫無盡に、移動活動を續けるを欣びとしたい。私達には私達の活動面がある。各地の劇團が、私達と同樣先づ手近な田舍へどし〳〵、出向かれるやう希み度い。

單に一演劇人としてゞはなく、私達の仕事は或る場合、偉大なる政治家以上の任務を持つてゐることを忘れてはいけないと思ふ。又現地のお役人にも、それのだけ理解が欲しい。（終）

（一九三九・三・二〇）

敗戰支那の記錄 上海の一年 (12)

邵洵美
大內隆雄譯

私の店は內地に開かれてゐる、それは一般のとは違つてゐた、緊急時には緊急方法を講ずべきである、習慣になるとその緊急辦法も唯一の辦法になつてしまつた。最後の回には、女房が私の娘たちの服飾品を包みに入れ私に言つた「もうこれからは〝實家〟へも行けないわ」彼女のこのシヤレた言葉は恐らく私の潛在意識內に消すことの出來ぬ印象を殘したやうだつた、これは最も緊急の時だつた、その丈餘の黑い文字は終始私の記憶に殘つた、それもこのためであつたかも知れない。

八月十四日、空はまだ明けてゐなかつた、みんな起きてゐた、耳には長く續いた音が聞えた、從弟は機關銃だと言つた、しかし機關銃はあんなには響かない、私の友人は迫擊砲だと言つた、しかし迫擊砲はあんなに急ではない、みんなは床を跳ね起きて露天にそれを調べに行くことに同意した、そこで空の飛行機を見出した、大きいのや小さいのや十何台ゐた、上下を舞つてゐた、私達は空中戰といふものを見たことがなかつたけれども、直覺的にこれは空中戰だと決定した、つゞいて又別な音が聞えた、それは本當に機關銃だつた、それから又別な音がした、飛行機のモーターよりゆつくりしてゐた、そして不平均だつた、それは高射砲だといふことが直ぐに判つた、私達は家の者をみな起した、みんな起きて見に來た、みんなはもつと詳しいことを知りたがつた、そして私に辛報館に聞きに行つてくれと言ふのだつた。妹の家には電話がなかつた、私は露路を出て向ひの店に電話を借りに行つた。彼等は最初斷つた、私は新聞社に消息を聞くのだと言つたがそれでも彼等は承知しなかつた、私は突然聰明になつた、電話賃を拂ふと言つたそしたら彼等はやつと承知した、そして五錢くれと言つた—その日私は三回電話を掛けた。翌日行つた時には彼等はもう電話器に貼り出しを揚げてゐた、そしてその値段が十錢に騰貴してゐた。電話は通じた、電話に出たのは福愉だつた、彼はひと晩其處にゐて家に歸らなかつたのだ。彼の聲はいつもより高かつた、それには樂しさうな分子があつた、又威張つてゐる所があつた、それに英雄振つてゐた彼は言つた、中國の空軍が今日出動した、今や出雲を爆擊してゐるといふのだつた。それに彼は私の言葉を訂正してこれは空中戰ではない、空中戰はなくてはならぬと言つた私は歸つてみんなに話した、みんなは聲を揃へてこの飛行機が早くその任務を濟ますやうにと祈つた、そして飛行機から爆彈が落ちる毎にみんなはびつくりして跳び上つた。

從弟は早く朝飯を濟まして昨夜決定した仕事をやりに車に乘つて出掛けた、從弟は言つた、若し楊樹浦の交通が杜絕してゐなかつたら直接品物を持つて來ると。その言葉は甚だ英雄的だつた、それで車は車夫によつて奔らせたがしかし彼等が車に乘り込んだ有樣は航空員が戰鬪機に乘り込むのに似てゐた。

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△新京圖書館月報（三月號）免田造地「ラマ敎」「最近の主な收書紹介」田中登「私のみた古本」「書評」「最近の滿人圖書館閱覽傾向」「滿洲學會記事」等（新京中央通三〇、新京圖書館）

△大吉林（三月號）梨羽時介「北支の旅を終りて」その他吉林の動きを報じた記事を盛る（吉林市大東門裡、大吉林社、三十錢）

△北支畫刊（三月號）建設山西、陽泉炭礦、石橋丑雄「北京城壁由來」北京の城門と城壁等のグラフを中心としたもの（滿鐵編輯平凡社發行、三十錢）

△東亞商工經濟（四月號）關東州を中心とせる商品の移動について、大連港滯貨問題の經緯、滿洲國より見たる圓ブロック貿易檢討等の調査を揭ぐ（大連市敷島町八二、大連商工會議所、四十錢）

△新滿洲（四月號）各方面に亘る記事を載せた滿文誌、形式も狙ひ處も陳腐なのにはがつかりする（新京西七馬路一四、滿洲圖書株式會社、二角）

△農業の滿洲（三月號）中村如峰「地方更生の對策と農地生產力增進方針の一警」池田實「土壤より見たるアルカリ地帶の概要」最上章「滿洲の土壤と肥料」その他（大連市羽衣町一、農業の滿洲社、三十五錢）

△女醫界（四月號）（東京市麴町區飯田町一ノ二八、至誠會）

△正金週報（一三號）（橫濱正金銀行）

△大空（三月號）「支那事變の本質と陸軍機の活躍」別府景光「レーンの呼ぶ聲」弘中正利「はだす風に乘つて」古長敏明「むさゝび」等（新京中央通六一、國防會館、滿洲飛行協會、二十五錢）

△經濟統計月報（四月）（大連商工會議所、三十錢）

△大陸科學院彙報（三ノ一）滿洲農民の食品に就て、除虫菊栽培に就て、顧鄉屯先史學的調査その他の研究を盛る（大陸科學院、一圓）

△滿洲良男（三ノ八號）（關東軍司令部）

△新天地（四月號）加納三郎「東亞思想の諸條件」武藤潔「チエコ瓦解と歐洲諸情勢」一條操二「ソ聯第三次五年計畫全貌」關數雄「化學工業の大陸性」中野正雄「滿洲開拓農民の諸問題」遲二郎「文化に關して三題」吉野治夫「孤兒」等を盛る（大連市楠町三、新天地社、三十錢）

△奉天商工公會々報（一月十五日號）（奉天商工公會）

△大陸研究（三月號）（東京市神田區旭町七、大陸研究社、四十錢）

汁、お吸物　お正月のお雑煮味噌汁お吸物清水汁或は天ぷら、蕎麦等に用ゐる八方汁でも、…に付味の素アルミ匙（小瓶に付…）四五杯を加へれば著し…すまし汁を仕立て…（小）の水…

鶏卵料理　たまご焼、炒り卵、オムレツ等を料理するにも卵一個を一人前と…て味の素アルミ匙四五杯をお混ぜ…又御飯にかける生鶏卵にも是…

茶、酒　茶には急須…杯程を入れますと…にも少量を入…しそ…

付醤油…香の物などの…ルミ匙三四杯を加へ…大根も引立ち、浸し物など…り掛けますと美味いばかりでな…や醤菜代用の色彩ともなりますから、

煮物　には普通の煮汁を用ゐる…に使ふのです。また既に煮し…れば味の素を振り…鰹節昆布など…ゆる…

…の粥…随分…少量入…りでなく、…きらひなお…れます。恢復期…様になり殊に重寶…な…慾がつく…と御座いません

…ろし…のチ…スターゼを含んでゐて食物の消化に効…がありますが、殊に味の素を混ぜますと味をよくし大根の辛味を消します。また大根おろしに味の素を混ぜ熱湯を注ぎ風邪薬として用ゐる向も御座います。

饂飩　うどん、そば等お掛への時搾粉…少量を混ぜれば誠によい味となり…雑精進あげの衣の中に小麦粉…匙十杯程入れると誠によい…適してゐるか解ります。

…へ、梅肉和へ、卯の花…和へなど、凡て和…を加へますと、和…て、美味しさ…ワイトソー…二杯の割…乳五勺…シャ…匙…に…は…加へると…料理について、味…も物などを拵へる時は必ずお…し下さい。魚の摺身、鶏肉の叩きの中へも同様美味くなる重話合です、分量は一人前アルミ匙四五杯お入れ下さい。

飯　松茸飯、筍飯、五目飯、豌豆飯、小豆飯、茶めし、鮨飯等は勿論普通の米及麥飯等を炊く時又は炊上る時分に適量に入れば美味い御飯が出來ます。

關東軍持久部隊に侍從武官を御差遣

有難き聖旨を賜る

畏き邊りでは北邊の護りに任ずる關東軍隷下部隊に侍從武官德永鹿之助中佐を御差遣、聖旨、令旨を傳達あらせられた、德永侍從武官は去る三月廿日午後五時植田軍司令官以下在京各部隊長の出迎裡に空路新京飛行場着、直ちに新京神社、忠靈塔參拜、廿一日關東軍司令部を始め在京各部隊に於て將兵一同に對し夫々聖旨令旨を傳達し更に皇帝陛下にも面謁した、同武官は引續き廿二日より四月三日まで東北西の各國境第一線を巡視し嚴として北邊の固めにつく各持久部隊將兵に對して同樣有難き聖旨令旨を傳達し四日新京到着、滿洲國一般狀況と國都建設の狀況及び寬城子、南嶺の戰跡を視察の上六日より南滿各地部隊に聖旨令旨を傳達し十日午前九時卅分周水子飛行場發空路離滿歸國の途についた【寫眞は忠靈塔參拜の德永侍從武官】

軍司令官謹話

右侍從武官の御差遣に關し十日午後三時植田軍司令官は左の如き謹話を發表した

天皇陛下におかせられましては此度我が關東軍に侍從武官を御差遣遊ばされまして國境前線各地の御巡視を命じ遊ばされると共に有難き聖旨を賜り、又皇后陛下皇太后陛下より種々御勞りの御言葉を賜り、その上將兵一同には御品を、傷病兵には御菓子を下し賜りましたことは吾々將兵一同只々感激に堪へない處であります、又侍從武官には歸京後、將兵勞苦の狀況を審さに奏上されるとのことでありますが、吾々身を軍籍に置く者の光榮之に過ぐるものはなく時局に際し日夜御政務に御精勵の由洩れ承つてをりましたが尚大御心を吾等にまで掛けさせられますことは只々恐懼措く能はざるところでありまして、將兵一同廣大無邊の聖旨に應へ奉る可く益々一死奉公を誓ふのみであります、今や東亞新秩序建設の聖戰は着々と成果を擧げつゝありますが、吾等亦愈々堅忍持久、盡忠報國の決意を固くし以て北邊の護りの重責を完うし明日の備へに遺憾なきを期する覺悟であります

好況の裏、花街にもこの惱み―

樓主に痛い前借金全面的に鰻上り

五千圓藝妓はザラ

內地の都會地に於ける花街は軍需景氣が反映してすばらしい好況を示してゐることを報じてゐるが、國都花街の昨今はどうか?花街景氣は事變以來鰻上りの好況に惠まれて來てゐることはしば〳〵傳へられてゐるところであるが、ことに最近の景氣と來ては爆發的のものと言ひたい、こゝろみに料亭をのぞいて見るがよい、この社會では宵の口と見られる午後九時頃ともなれば超滿員『女中部屋でも空いてゐないか』と言はいこゝにもお客さまが室のあくのをお待ちでございます』と言ふ應待でその好況ぶりは想像に餘りあるものがある、勿論この業界のみならずネオン街にしろ歡樂街方面は全面的に好調の一途を辿つてゐるのであるが、然しネオン街方面はそれが大衆的であり從つて取締りの目も嚴重に光つてゐるに反し花街方面は比較的緩漫と見られ有產知識階級の所謂お忍びの遊客はワンサと押しかけてゐるのである、業者にとつては文字通り我が世の春また自肅自戒下の意外な景氣である、然しこれは表面、この裏面に入つてみると經營者には又經營者の惱みがあつて景氣必ずしも儲けにはならぬ事實のあることを物語つてゐる

國都花街がすばらしい好景氣に惠まれてゐる折から、警察の方針に反し樓主を泣かせる異變がある、即ち藝酌婦への前借が全面的に高率となつたことだ、一昨年頃藝酌婦の前借相場は酌婦で平均千二百圓程度、藝妓で平均三千圓位とされてゐたが、最近は酌婦で二千圓、藝妓で五千圓と言ふ最近の國都花街に於ける前借橫綱は料亭彌生の京彌さん(二三)とダイヤ街桃園の笑千代さん(二一)でその金額は六千圓である、尤も昭和十年の暮れ料亭曙にデビユーした錦花姐さんは七千圓で業界前借の筆頭、今さら六千圓と言つても驚く程のこともないが五千圓代の藝妓はザラにあると言ふのである、この傾向は貸金を少くし彼女達を擁護せんとする警察の意向に反するのみならず樓主側には一段危險率を增し大資本を必要とするもので經營上の大きな惱みである、これについて業者は次の如く語つてゐる

最近藝酌婦の前借金が高率となつたことは業者にとつて大なる脅威であります、かうした原因は事變の結果支那方面の治安確立と共にこの方面へどし〳〵進出する關係から來るものと思はれます、內地へ募集に出掛けて見て第一藝妓の數の少いのに驚きます、そして求める方は臺灣、朝鮮、滿洲支那と各方面募集に入り込んで必然競爭となり、せり上げられると言ふ情勢です結論は需用に應ずる藝妓の數が少いと言ふことにもなりませうか、尙最近の業界の景氣はたしか例年に比してよいと言へます、然し物價高や諸經費等の點を差し引くとちよんと言ふところでせう

傷病兵着發

北滿の治安工作に偉勳を樹てた皇軍傷病兵〇〇名は十一日午前八時六分哈爾濱より新京驛着、同十時五十五分發列車にて南下する豫定である

列車から墜死

十日午前十時ごろ京圖線八里堡地內(新京驛起點六キロ九四四)に五十才前後滿人苦力體の男が橫死してゐるを鐵道警護隊員が發見した、他殺の疑ひがあるので首都警察廳から島貫搜査股長以下現場に急行檢證の結果、列車から振り落され頭部及び胸部を强打死亡したものと判明した、身元不明

さあ歩きませう! {兒玉公園所見}

大陸市長離京

【東京國通】滿蒙支十大市長一行は東亞都市聯盟結成を土產に十日午前熱誠な市民の歡送裡に離京橫濱に向つた、一行は午後橫濱市の歡迎會、十一日名古屋、十二、十三日京都、十四日大阪、十五日神戶で夫々視察見學後十六日神戶出帆大陸へ歸る豫定、なほ一行中濱天津市長は心臟病のため東京に殘り當分靜養する

虎林縣北部の匪三百を殲滅

山田中尉壯烈な戰死

虎林縣內北部地帶に蠢動の反日滿匪團を掃蕩中の國軍林寬部隊の一部は去る一日同縣下倒木河北方約四十滿里の大西南岔高地において約三百の匪團を包圍攻撃した、匪團は散兵壕に據り頑强に抵抗したが同部隊は寡兵をもつて夜襲を敢行、これに全滅的打撃を與へて潰走せしめた、この戰闘において林寬部隊附日系軍官山田金吉步兵中尉(山梨縣北巨摩郡鹽崎村出身)は敵前廿米に迫り奮戰中敵彈のため壯烈な戰死をとげ、また兵七名も匪彈に命中戰死を遂げた、敵遺棄死體多數、なほ山田中尉は奉天中央陸軍訓練處第五期卒業の本年廿九歲、前途有爲な青年將校であつた【寫眞は戰死した山田中尉】

夏の協和會服にカーキ色の襯衣

涼しくなりますゾ!

滿洲國の國民服とも稱すべき協和會服は次第に一般民衆に愛用者の數を增しつゝあるがきちんと襟をしめるとどうも窮屈な感じがし、多服はともかく夏服は暑過ぎ襟を開けば下はシャツ一枚でだらしなくなるので中央本部で種々考慮の結果、夏服はカーキ色の輕快なシャツを考案し一般の要望に答へて愛用せしめることとなつたが、今夏よりは伊太利黑シャツの向ふを張つて協和會カーキーシャツが先づお膝元の新京より漸次全滿に普及されることとならう

滿系技術員養成に拍車

工科學生留學

技術者と名の附くものなら猫も杓子も引つ張り凧の產業開發總力戰時代に應じて社團法人滿洲鑛工技術員協會では愈々本年から技術員の養成に拍車をかけることになり、先づ手始めとして滿系普通技術員養成のため先般來全滿工科國民高等學校第三學年ならびに舊制初級中學校第一學年在學者中から內地工業學校留學生を銓衡中であつたが、此の程優秀生徒二十名を決定、近日中に左記五校に入學せしめることになつた、なほ留學生は必修年限を終了の上、修學期間の一倍半だけ協會加盟の特殊會社に服務する義務を持つてゐる

鶴岡工業學校、盛岡工業學校、仙臺工業學校、秋田工業學校、札幌工業學校

滿洲みやげ即賣展開催

來月十七日から寶山で

既報、新京商工公會、新京觀光協會、新京土產商組合ではかねて國都土產品々評會開催について計畫中であつたがこの程具體案を決定した、即ち當初計畫されてゐた新京を中心とすることを廢し、これを廣く全滿各地より蒐めその名稱も『滿洲みやげ品即賣展覽會』として新京商工公會商工相談所主催の下に來る五月十七日より廿一日まで五日間寶山百貨店で開催することゝなつた、出品規定は左の如くである、尙期間中十七、十八日の兩日は日滿實業大會を開催する筈である

一、出品 A一般陳列品 所謂みやげ品と稱せられざる物と云へども明瞭なる滿洲色を伺ひ得る商品をも集む B即賣品、C參考品(趣味家の蒐集品)

二、勸誘 A範圍 全滿各地 B方法(第一段)各商工公會、觀光協會、みやげ商組合を通じて勸誘狀を發送、申込を爲さしむ(第二段)係員出張し督促申込を取る

三、出品者負擔分 A出品料なし、B運賃往路負擔(復路會負擔)C即賣手數料賣上の一割徵收

昨夜南北から

ジョンストン博士夫妻と漫畫の田河氏來京

北支視察を終へ八日來滿したワシントン大學教授ジョンストン博士夫妻はその後、奉天哈爾濱等視察中であつたが、十日午後九時三十分着列車で來京、ヤマトホテルに入つた博士夫妻は十一日國都の見學をなし、大連經由青島、上海方面視察に赴く豫定【寫眞下驛着のジ夫妻】

□□

『のらくろ軍曹』の漫畫で坊ちやん、孃ちやんにおなじみ深い漫畫家田河水泡氏は滿拓の招聘で開拓訓練生の生活を漫畫化すべく渡滿の途にあつたが十日午後九時三十五分新京驛着ひかりで岡田情報處開班長及び滿拓社員等の出迎へを受けて入京した、氏は兩三日滯京の上鐵驛始め北滿の開拓地へ向ふはず【寫眞上驛着の田河氏】

全滿兒童の赤眼禍驅逐

各地に專門醫

六〇パーセントの罹患率を持つてゐる全滿兒童のトラホーム撲滅對策を考究中の保健司で今回試驗的對策として奉天、安東、哈爾濱、吉林、錦縣、延吉、通化の各省公署所在地にトラホーム專門の校醫七名を衛生婦と共に駐在せしめ、その實績をみた上明年度から本格的撲滅對策を實施、小國民達を赤眼禍から一人殘らず解放しようと準備してゐる この校醫に選定された人達は今春新京醫大を出た若いお醫者さん達で目下新京市立醫院で實習中であるが、二ヶ月間の實習期間を終了した上六月頃から任地に赴く筈である

嶺東路に火事

十日午後一時半ごろ新京特別市嶺東路二號野菜商魏濤懷方から發火、同家を半燒して同二時十分鎭火した、損害四百餘圓、原因取調中

そよかぜ號 第二航程を翔破

【東京國通】そよかぜ號は十日午前八時十二分臺北發(航空局正式時計)九百キロを三時間廿二分で翔破、同十一時卅五分廣東に安着

廣瀨電々總裁 日滿軍慰問の途へ

廣瀨電々總裁は曩に東部國境地方の皇軍及び國軍の慰問を行ひ兼ねて同方面の業務視察を行つたが、更に十二日新京出發國境方面の慰問を行ひ約十日間にわたり同地方の通信施設を視察廿二日歸京の豫定である

●入江前宮內府次長來社 元宮內府次長入江貫一氏は十日退官挨拶に來社した

滿洲國馬政局長の椅子にどつかとおさまつた遊佐幸平少將は馬よりほか何も考へたことがないといつてよいほどこと馬に關する限り一生懸命だ▼日曜祭日にも自宅でくつろぐといつたやうなことは一度もなく必ず局長室に顏を出してはペルシユロンだ、アングロノルマンだと頭をひねつてゐる▼馬のことを考へぬと飯がまづくてネと言ひたさうな局長、ペンを措き後に揭げてゐる卅號油繪の馬の群生圖を指し『海拉爾附近の某蒙古人所有の馬群を描いたものだ、僕も昨年行つて見て驚いたネ一萬數千頭の大群だ、これだけの大群は世界廣しと雖も何處にも見ない、まつたく壯觀だよ、これだけの大群を十人の牧夫でボツてゐるが實にうまいもんだよ▼その男は馬のほか牛と羊を各々これ位持つてゐるが金額に換算すると莫大なものだ今年も是非見に行きたいと思つとる』と言つてゐたが局長の心はもうすでにバルガの大牧野に飛んでゐるのであらう

天氣豫報 けふの天氣 西の風晴時々曇り きのふ氣溫 最高二〇度 最低一度七

若殿膝栗毛

（上演禁上映）

中川雨之助　竹越一郎畫

（三百十六）

地獄で佛

終ひには手を握る。肩へ絡み付いて來る。果は、大勢寄つてたかつて悪巫山戯を始めようとする。

香鳥も、その圖々しさに呆れもしたが、腹も立つた。イザとなれば、懐の短刀で、身を護るくらゐのことは知つて居るけれど、ならうことなら何處までも、ただ門付女で通してゐたかつた。

そこで彼女は、たうたう迫つて來る男たちの手を脱れて悲鳴をあげながら、座敷から裏庭へ飛び出した。

それでも未だ追かけて來さうだつたので、逃げ場を失つた彼女はそこの切戸の開いてゐたを幸ひ、塀から外へ出てしまつた。

そこは一面の空地であつた

『オーイ、何處へ行つただ、もう悪戯しねえで、早く出て來う』

『いつまでも隠れてゐると、ソーレ鬼がつかまへに行くぞよあはゝゝゝ』

その聲を機に聞きながら、何方へ逃げようかと、香鳥が思ひ煩つてゐる時であつた。

突然、眼の前へ、サッと一道の光が落ちて來た。

それは、お銀の室の燈影であつた。悲鳴に驚いてお銀が雨戸を繰たとたんに、二階からパッと射して來た燈の光であつた。

上から覗下すお銀の眼に、下の空地に立つてゐる女の姿が映つた。

下から覗上げる香鳥の眼に欄干近く立つてゐる二階の女の姿の映つた事はいふまでもなかつた。

だが、それがお銀であらうとはそれが香鳥であらうとはお互に知るはずはなかつた。

『あなた、どうかしましたか』

上からお銀が聲をかけた。

優しさのこもつたその聲は香鳥に取つては地獄で佛の思ひであつた。

『はい、どうぞお助けくださいまし』

溺れる者は、藁をも掴むの譬への通り、見ず知らずではあるけれど、女は女同士の、なんとかして助かる工夫もなからうかと、ツイ縋る氣になつたのであつた。

お銀もまた、事情は分らなかつたけれど、只何となく可哀想に思はれて、打棄つて置く氣にはなれなかつた。

『お待ち、いま、何とかしてあげるから……』

彼女は一枚引かけると、急いで二階を下りた。宵に便所へ行く時に見てあつた裏の切戸へ、庭下駄を鳴らして近寄ると、掛金を外して空地へ出た。

『サア、兎も角もこちらへ…』

『ハイ、有難うございます』

喜んで近寄らうとした香鳥の帯際を、グッと掴んで、引戻したものがあつた。

『コレ、何處へ行くだ。逃げるたつて、逃すことでねえぞッ』

それは、酔ッぱらつた男の太い聲であつた。

お銀の手を借りるまでもなかつた『何をなさるッ』と、香鳥は我慢の緒を切つた。身をひねつて、帯際を捉へてゐる男の、胸のあたりを一つドンと突いた。

『アレ、何するだア』と頓狂な聲を揚げたかと思つたら、霜解けの土に、足がすべつてその男は、ツルリと尻もちをついた。

『こんな處へ來たつて、四方板圍で、何處も行く所は無えだよ。だから此方へ來うといふに、分らぬえ阿魔ッ子だ』

同じ百姓の中でも、齢若で血氣さうなのが一人、相手を女と侮り、殊に、今の男が尻もちをつかされたのが、多少癪にさはつたとみえ、立ち替はつてヒドイ權幕で迫つて來た。